

津山市の環境報告書

平成29年度版

(平成28年度実績報告)



津 山 市

津山市の環境報告書もくじ

第 1 章 津山市第 2 次環境基本計画について	1
--------------------------	---

第 2 章 津山市の地域概要	4
----------------	---

第 3 章 津山市の環境の状況	8
-----------------	---

第 4 章 指標と実施状況

(1) 分野：ひと	25
-----------	----

(2) 分野：しぜん	27
------------	----

(3) 分野：まち	29
-----------	----

(4) 分野：しくみ	32
------------	----

(5) その他の取り組み	38
--------------	----

第 1 章 津山市第 2 次環境基本計画について

(1) 環境基本計画

津山市環境基本条例第 9 条に、「市長は、環境の保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境基本計画を策定するものとする。」と規定されています。「津山市第 2 次環境基本計画」（以下、「第 2 次計画」という。）は、平成 15 年に策定した津山市環境基本計画を引き継ぐ計画で、近年の社会的な背景や地球温暖化をはじめとする環境の現状及び市民の意見を踏まえて平成 28 年 3 月に策定しました。

(2) 計画の位置付け

第 2 次計画は、「環境基本法」、「津山市環境基本条例」、「国の環境基本計画」及び「新潟県環境基本計画（エコビジョン 2020）改訂版」など、関係する法令、条例、上位計画等に準拠して策定しました。また、「津山市第 5 次総合計画」を環境面で支える、市の環境行政での最上位計画になります。

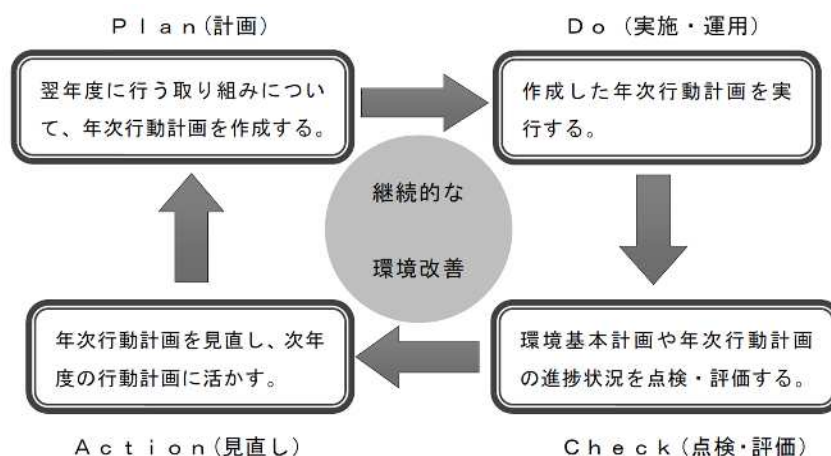
(3) 計画の期間

第 2 次計画の計画期間は、「津山市第 5 次総合計画」と同じ平成 28 年度から平成 37 年度までの 10 年間です。そして、期間の中間年度（5 年目）の平成 32 年度に見直しを行います。

(4) 計画の進行管理

PDCA サイクルを繰り返していくことにより計画の進行管理を行います。

PDCA とは、Plan（計画）、Do（実施・運用）、Check（点検・評価）、Action（見直し）のことで、環境基本計画の進行状況を把握し、課題に対応しつつ次年度の取り組みに活かすことを繰り返しながら、継続的な改善を図ることです。



ビジョン及びプロジェクト

環境将来像		ビジョン	サブビジョン	プロジェクト	リーディングプロジェクト
環境将来像 にぎわいのまち に未来のちを積み 刻みながら 水、土、緑	ひと しぜん まち しくみ	エコな行動をする人のまち 安らぎの自然豊かなまち	子どもの時から学び、共に育つまち 人や情報が交流するまち 環境意識を高めるまち	環境のことを考えて行動できる人づくりを推進します。 ● 学校などにおける環境教育を推進します。 ● 昔ながらの暮らしの知恵や技術を学びます。 ● 人と人との交流を推進します。 ● 環境情報の発信拠点を整備・運営します。 ● 地域における環境活動のネットワーク化を推進します。 ● 環境活動について学びあいます。 ● 啓発活動をとらして環境情報を提供します。	リーディングプロジェクト 環境基本計画推進組織の支援 環境学習推進プロジェクト
		住んでみたいまち 住んでみたいまち 持続可能な低炭素のまち	緑があふれ歴史を感じるまち 未来を拓く、地産地消のまち 安全安心で活気あふれる楽しいまち 人と環境にやさしいまち	自然保全プロジェクト ● 自然保全プロジェクト ● 地球温暖化対策プロジェクト	交通低炭素化プロジェクト
		住んでみたいまち 住んでみたいまち 持続可能な低炭素のまち	エネルギーや資源の地産地消を進めるまち 省エネルギーを進めるまち ごみを減らし、資源の循環するまち ごみの落ちていない美しいまち	津山エネルギー導入プロジェクト ● 津山エネルギー導入プロジェクト ● 津山エネルギー導入プロジェクト	ごみゼロ大作戦

環境将来像（めざすまちの姿）



とき
刻を積み
いのちはぐくむ水、土、緑
未来につなぐ
にぎわいのまち

長い歴史の積み重ねの中で、綿綿といのちを育んできた水、土、緑。
多くの自然の恵みの中で人々の営みが成り立ち、地域産業や文化が発展し、現在、私たちは豊かで快適な生活を享受しています。

しかし、豊かで快適な生活は、水質や大気、土壌汚染、ごみの問題等を引き起こし、私たちは集中豪雨や台風の巨大化等の異常気象、地球温暖化が原因とされる様々な大きな課題に直面しています。

きれいな空や大地、川面に吹く心地よい風、ゆったりとした里山里地。

このような安らぎを感じる自然豊かなまちで、自然の恵みを活用したエネルギーや資源が循環し、環境への負荷を限りなく低減させた持続可能なにぎわいのある低炭素※なまち。そして、だれもが安全安心で暮らしやすい快適なまち。

私たちは計画策定にあたり、このまちに住むあらゆる世代が力を合わせ、協働により、このようなまちを未来の世代に引き継いでいく思いを新たにしました。

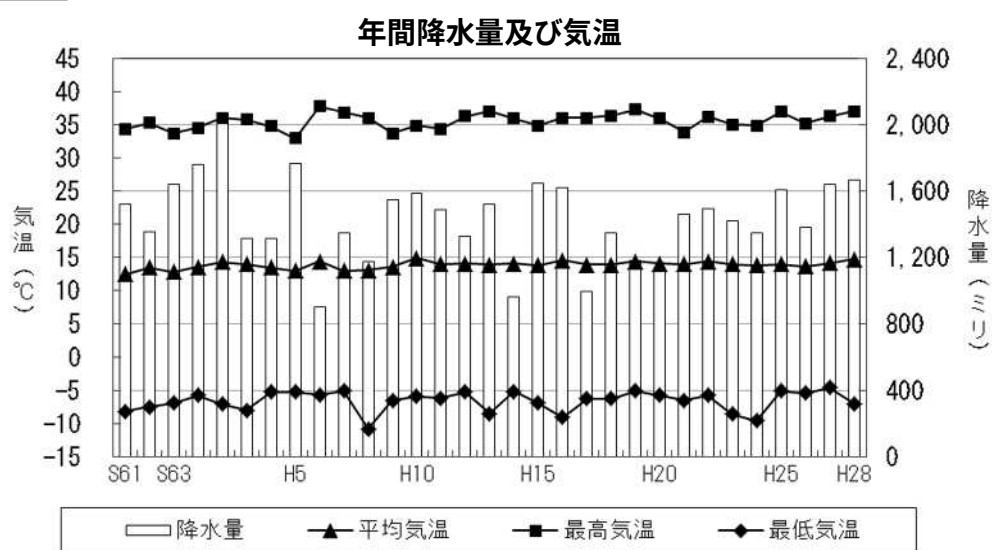
そして改めて私たちの思いを環境将来像に込めて表します。

「刻(とき)を積み、いのちはぐくむ水、土、緑 未来につなぐ にぎわいのまち」

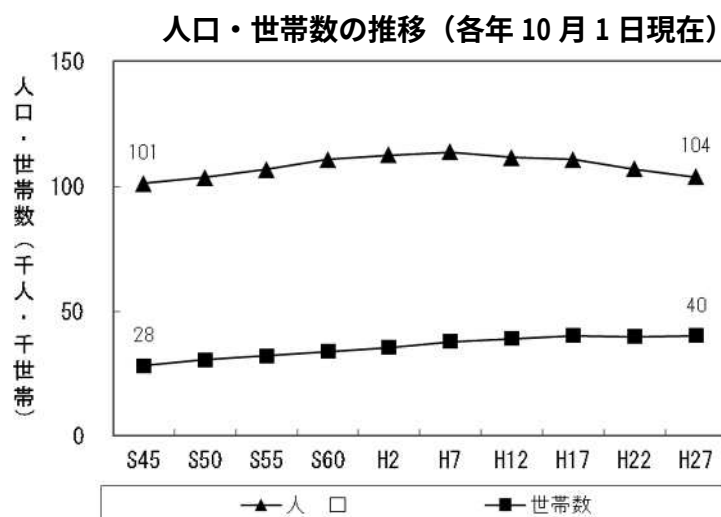
第 2 章 津山市の地域概要

この章では、気象などの地域特性、人口などの社会環境特性について、データで示し傾向を把握します。なお、参考資料の表示のないものについては、全て津山市統計書を参考としており、データについては把握可能な最新データを活用していることから、必ずしも平成 28 年度の実績値ではありません。

(1) 気象



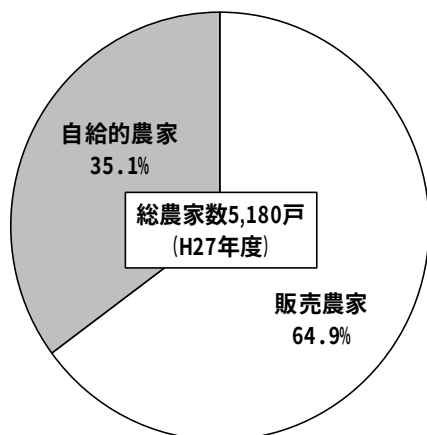
(2) 人口・世帯



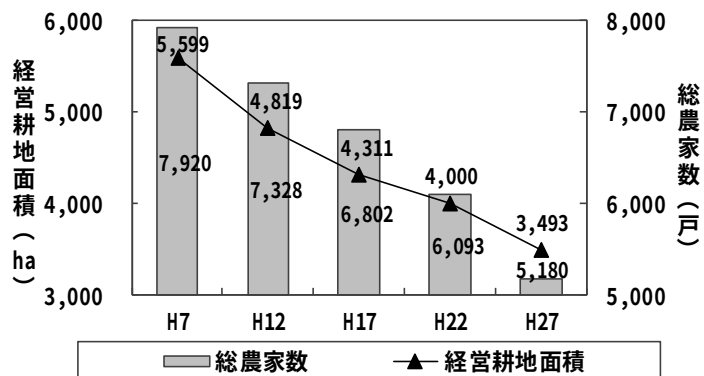
※H12 年以前の数値は津山市、加茂町、阿波村、勝北町、久米町の合計

(3) 農業

販売農家・自給的農家の内訳

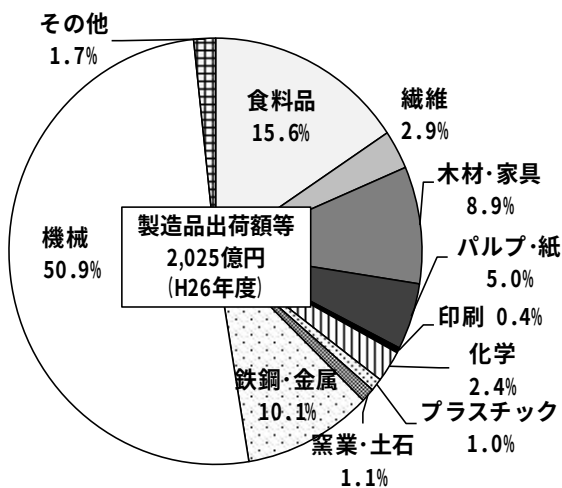


総農家数・経営耕地面積の推移

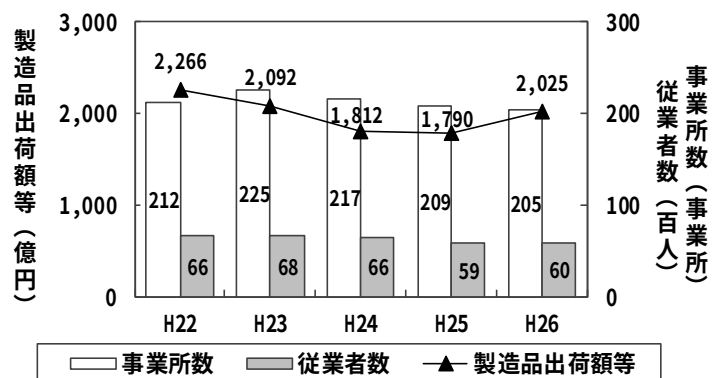


(4) 工業

製造品出荷額等の業種別内訳

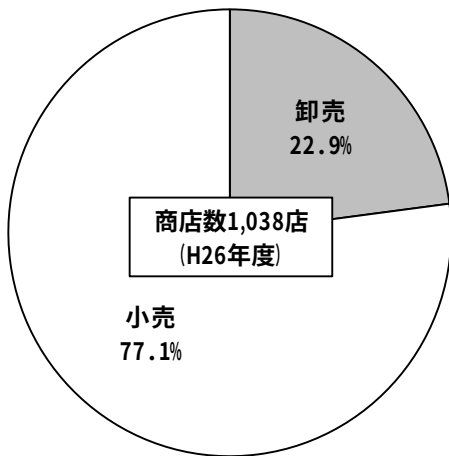


製造業関連の事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

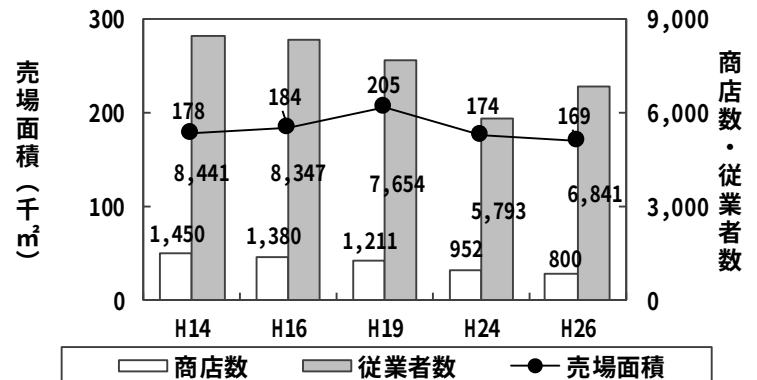


(5) 商業

卸売業・小売業の内訳

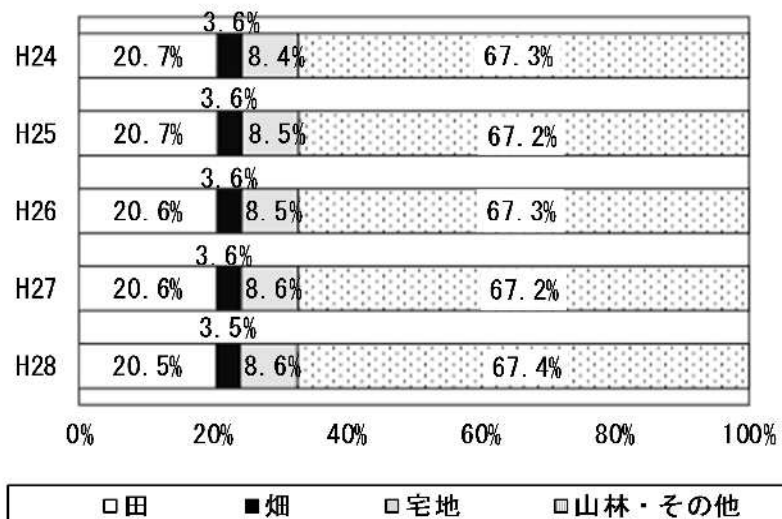


小売業における商店数・従業者数・売場面積の推移

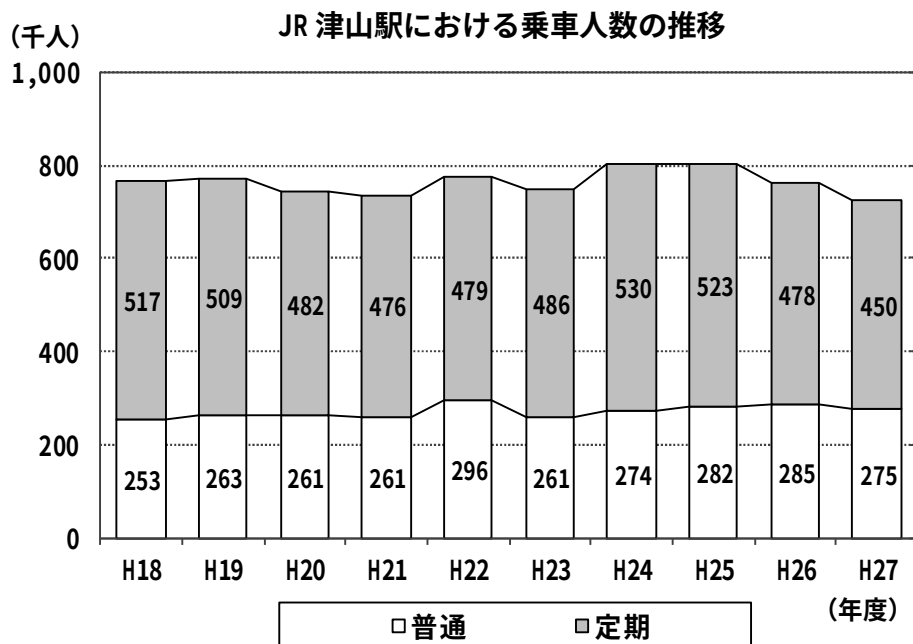
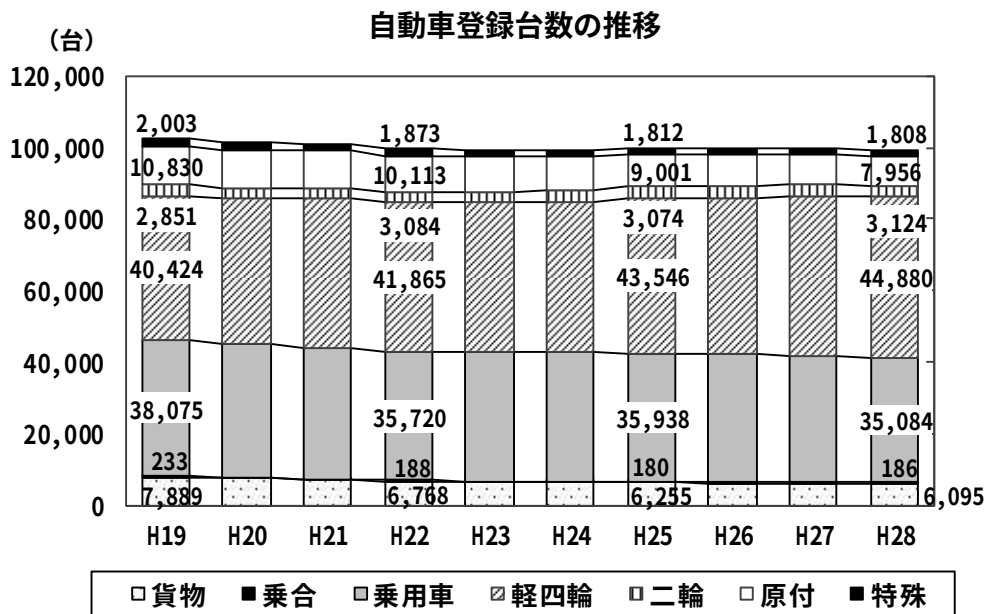


(6) 土地利用

民有地面積の地目別割合の推移



(7) 交通（自動車登録台数・JR 津山駅における乗車人数）



第3章 津山市の環境の状況

この章では、大気質、騒音、水質、ごみ処理、リサイクル率等の推移を示しています。なお、環境基準については概ね下回っています。

第2章同様、データについては把握可能な最新データを活用しています。

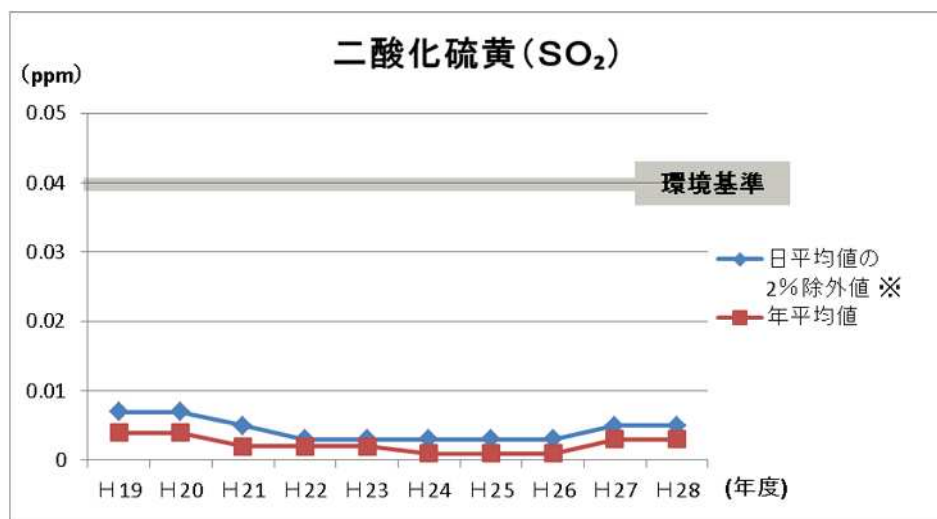
(1) 大気質

◆大気汚染に係る環境基準

物質	二酸化硫黄	二酸化窒素	浮遊粒子状物質	光化学オキシダント	一酸化炭素
環境上の条件	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。	1時間値が0.06ppm以下であること。	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。

①二酸化硫黄 (SO₂)

硫黄や硫黄化合物を燃やすと発生する気体で、粘膜を冒し、有毒である。石炭、石油燃焼後の排ガスに含まれ、公害の原因の一つである。

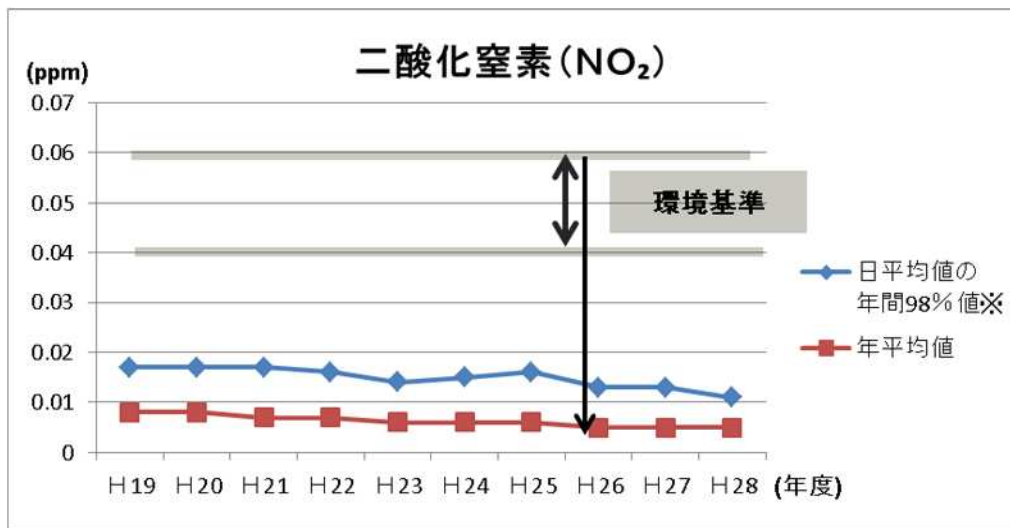


※日平均値の2%除外値

1年間を通じて得られた日平均値のうち、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した日平均値のこと。

②二酸化窒素（NO₂）

一酸化窒素が酸素に触れると生成する赤褐色の気体である。自動車のエンジンなどから副生され、大気汚染の原因となる。

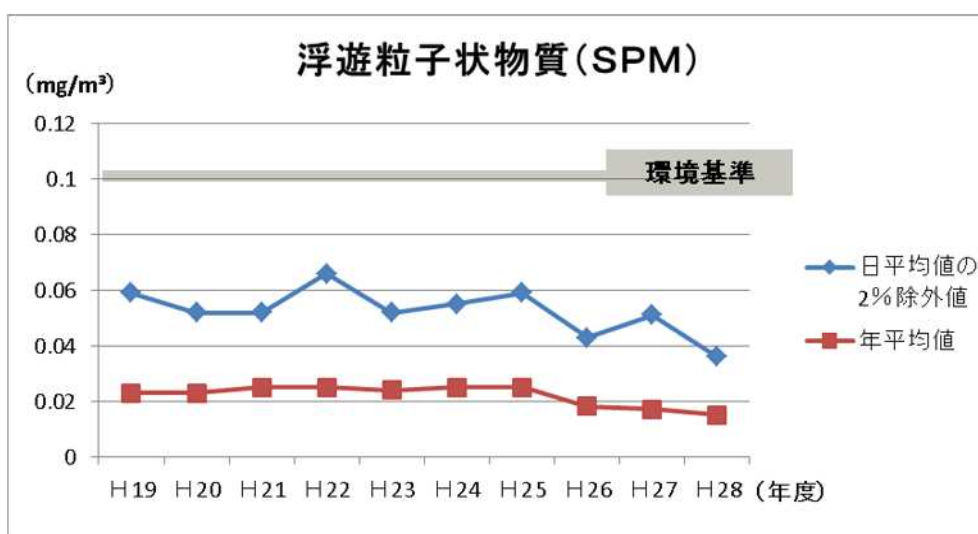


※日平均値の年間 98%値

1 年間を通じて得られた日平均値のうち、低い方から数えて 98%目に当たる日平均値のこと。

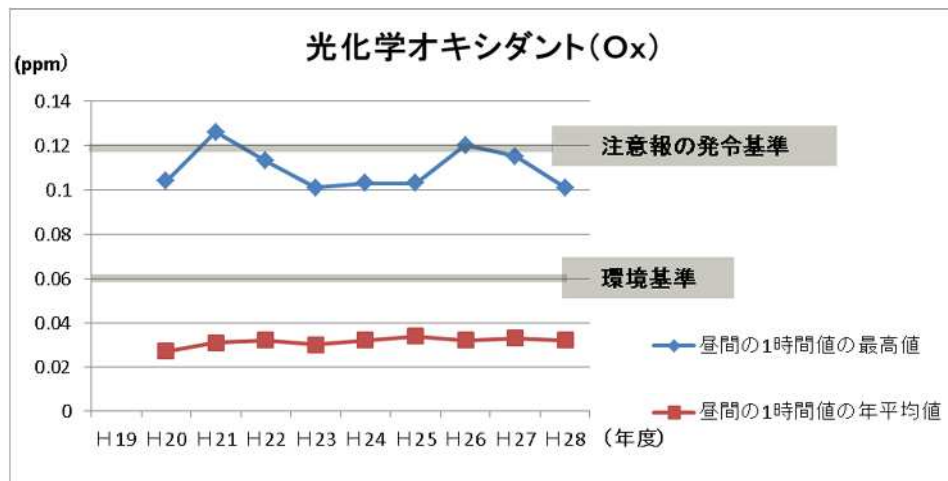
③浮遊粒子状物質（SPM）

空中に浮遊する細かな粒子状の物質で、代表的な大気汚染物質の一つ。原因は土粒子など自然由来及び人口由来の両方であり、いずれも呼吸器系の各部位へ沈着し、人の健康に影響を及ぼす。



④光化学オキシダント（O_x）

工場や自動車から排出された炭化水素（揮発性有機化合物等）や窒素酸化物が、太陽の強い紫外線的作用を受けて化学反応することにより生成される酸化生物質（オゾン、パーオキシアセチルナイトレートなど）の総称。粘膜への刺激、呼吸への影響といった健康影響のほか、農作物などへも影響を与える。



※数値については全て「岡山県の環境大気の概況」を参照とした。

(2) 騒音

◆騒音に係る環境基準及びあてはめ地域

①一般地域

地域の類型	基準値	
	昼間 (午前6時～午後10時)	夜間 (午後10時～午前6時)
AA	50デシベル以下	40デシベル以下
A	55デシベル以下	45デシベル以下
B	55デシベル以下	45デシベル以下
C	60デシベル以下	50デシベル以下

②道路に面する地域

地域の類型	車線	基準値	
		昼間	夜間
A	2車線以上	60デシベル以下	55デシベル以下
B	2車線以上	65デシベル以下	60デシベル以下
C	1車線以上		

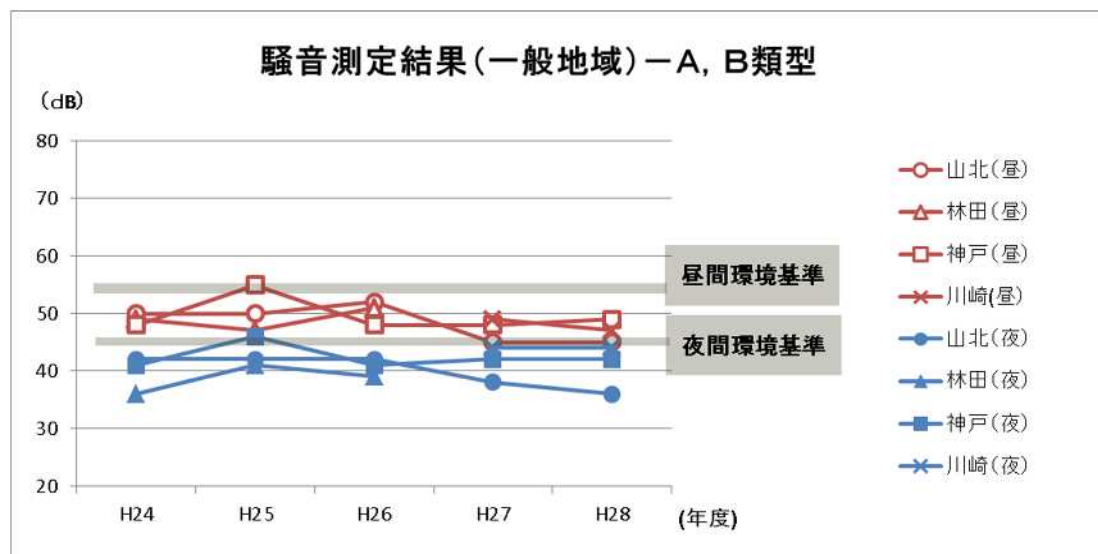
- 〔注〕 1 AAを当てはめる地域は、療養施設、社会福祉施設等が集合して設置される地域など特に静穏を要する地域とする。
- 2 Aを当てはめる地域は、専ら住居の用に供される地域とする。
- 3 Bを当てはめる地域は、主として住居の用に供される地域とする。
- 4 Cを当てはめる地域は、相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域とする。

なお、道路に面する地域において、幹線交通を担う道路に近接する空間については、特例として次表の基準値を適用する。

昼間	夜間
70デシベル以下	65デシベル以下
備考 個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれていると認められるときは、屋内へ透過する騒音に係る基準（昼間は45デシベル以下、夜間は40デシベル以下）にすることができる。	

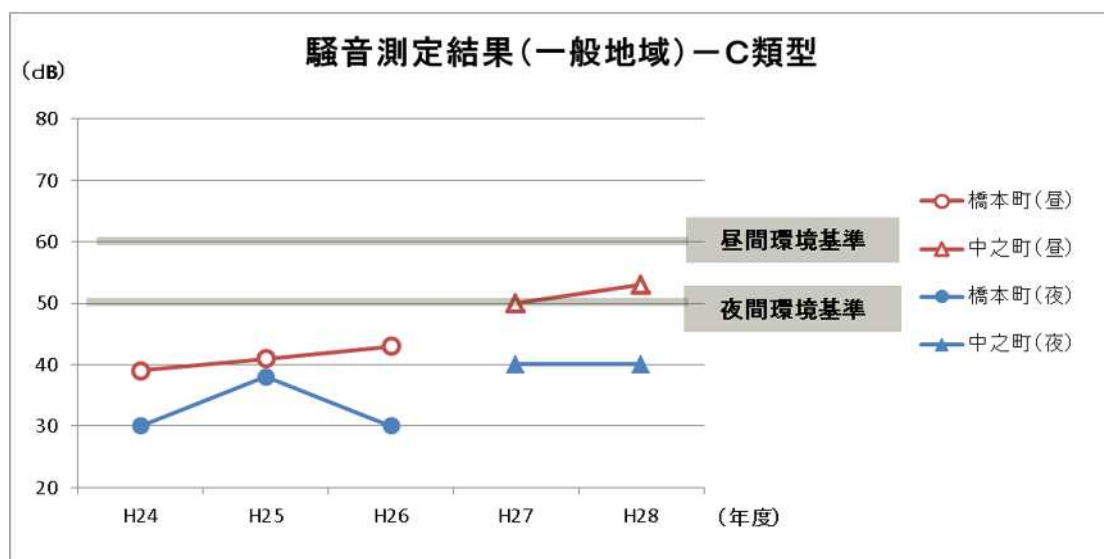
①一般地域

※観測地が年度で変更しているため、グラフに数値のない場合がある。

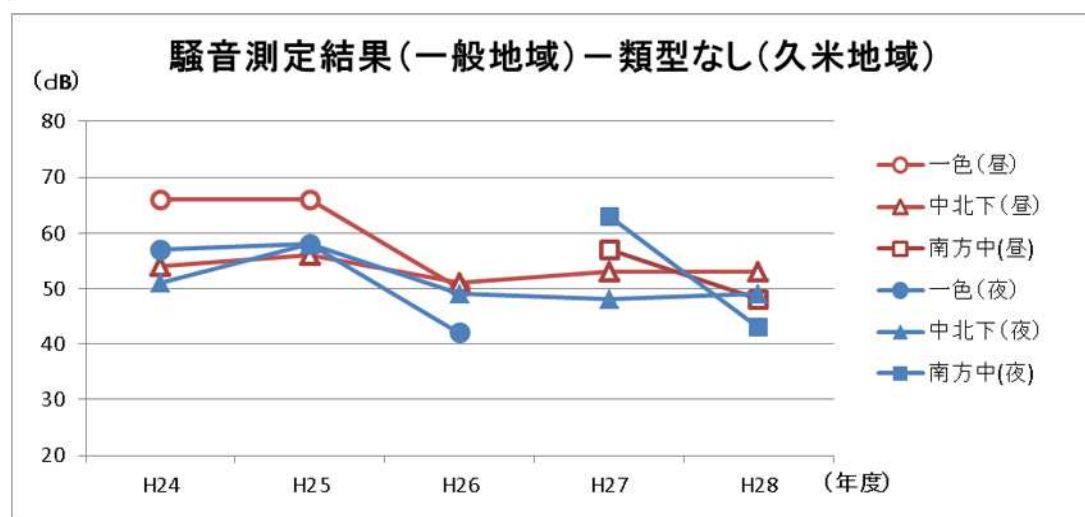
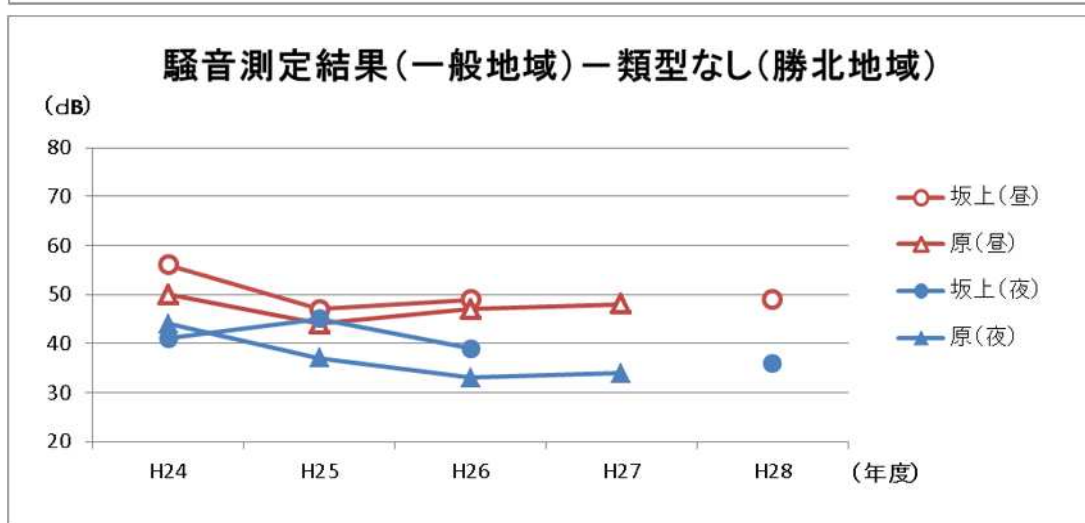
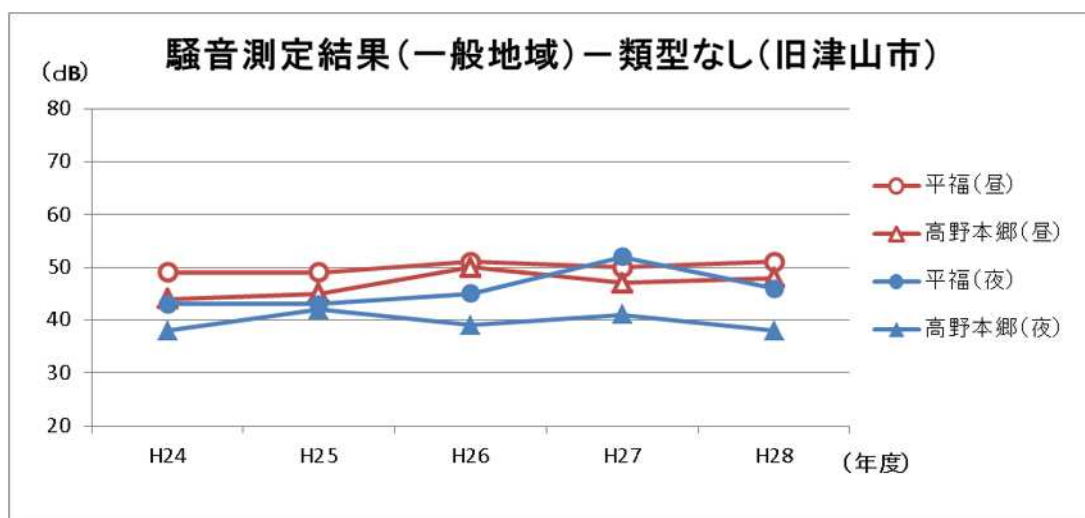


類型	地域	H24	H25	H26	H27	H28
A,B類型	山北(昼)	50	50	52	45	45
	林田(昼)	49	47	51	-	-
	神戸(昼)	48	55	48	48	49
	川崎(昼)	-	-	-	49	47
	山北(夜)	42	42	42	38	36
	林田(夜)	36	41	39	-	-
	神戸(夜)	41	46	41	42	42
	川崎(夜)	-	-	-	44	44

➤ 環境基準を上回っている部分のみ赤字



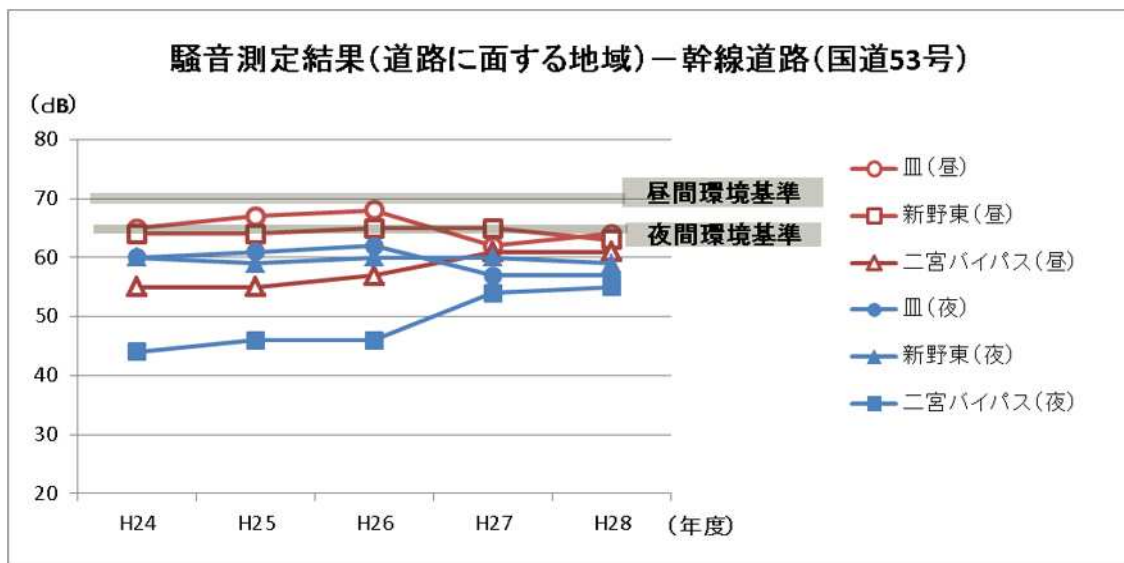
➤ 環境基準を全て下回っている



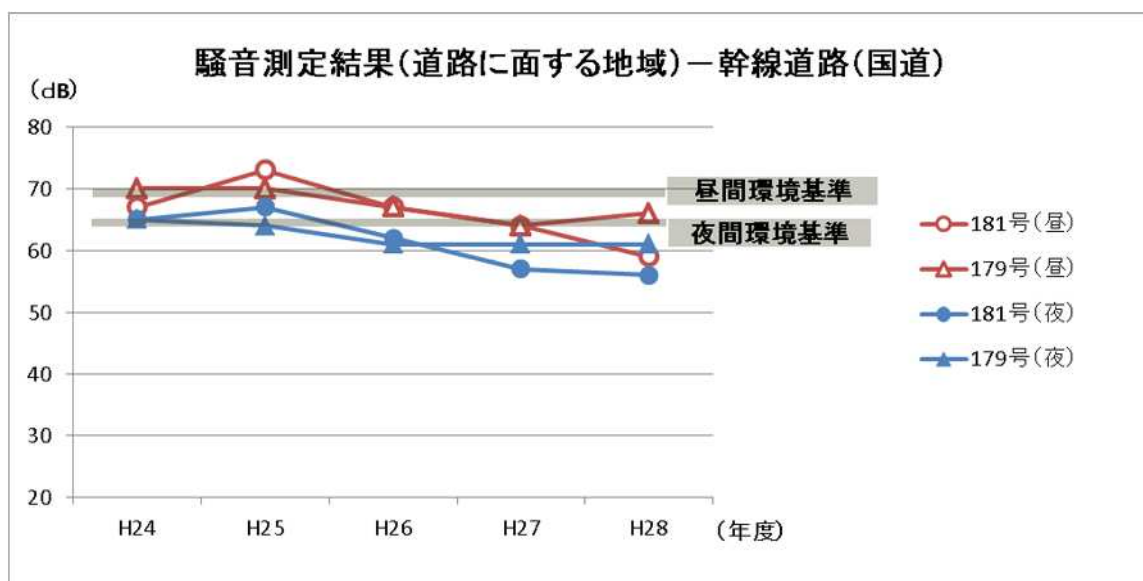
➤ 「類型なし」については環境基準なし

②道路に面する地域

※観測地が年度で変更しているため、グラフに数値のない場合がある。

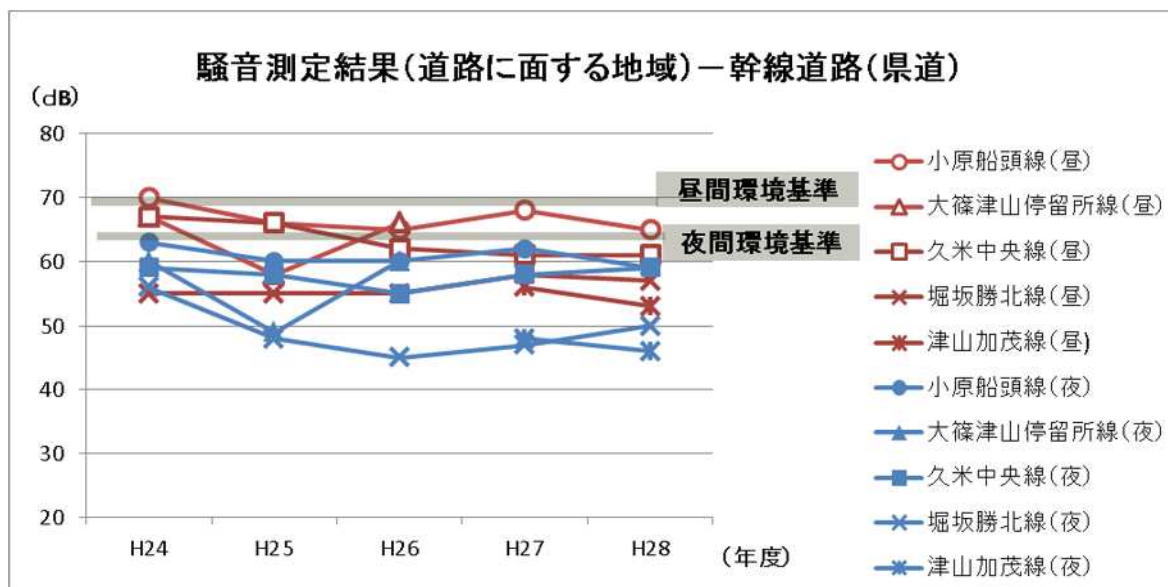


➤ 環境基準を全て下回っている

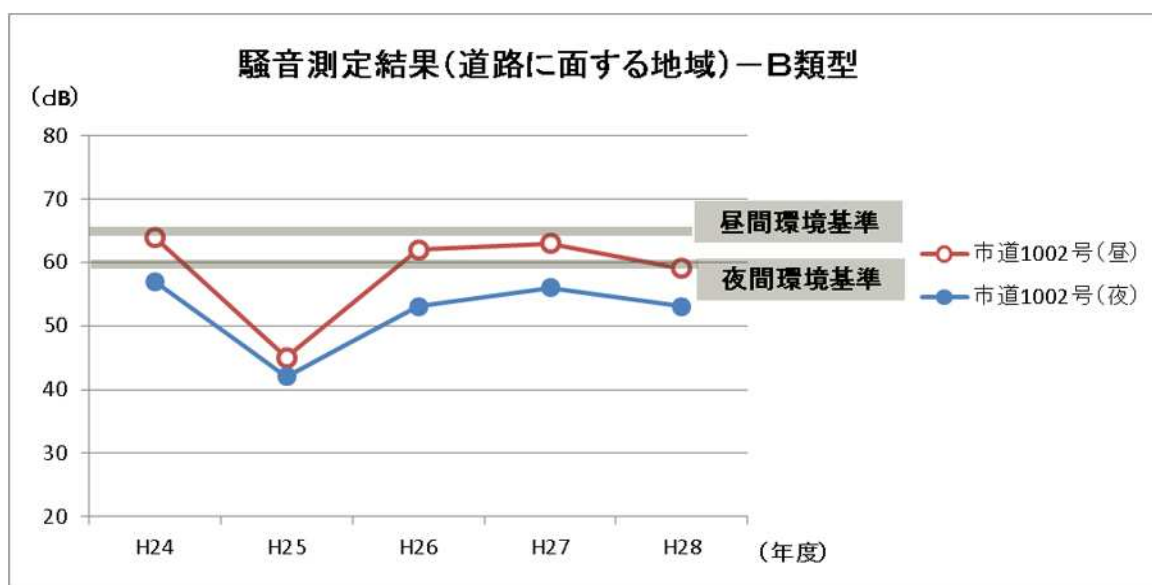


道路	地域	H24	H25	H26	H27	H28
幹線道路 (国道)	181号(昼)	67	73	67	64	59
	179号(昼)	70	70	67	64	66
	181号(夜)	65	67	62	57	56
	179号(夜)	65	64	61	61	61

➤ 環境基準を上回っている部分のみ赤字



➤ 環境基準を全て下回っている



➤ 環境基準を全て下回っている

※平成26年度まではC類型であった。

※数値については、全て「岡山県環境白書」を参照とした。

(3) 水質

◆水質汚濁に係る環境基準

項目 類型	利用目的の 適応性	基 準 値					市内該 当水域
		生物化学 的 酸素要求 量 (BOD)	水素イオン 濃度 (pH)	溶存酸素量 (DO)	浮遊物質 量 (SS)	大腸菌群数	
AA	水道1級 自然環境保 全及びA以 下の欄に掲 げるもの	1mg/L以 下	6.5以上 8.5以下	7.5mg/L以 上	25mg/L以 下	50MPN/100mL 以下	—
A	水道2級 水産1級 水浴及びB 以下の欄に掲 げるもの	2mg/L以 下	6.5以上 8.5以下	7.5mg/L以 上	25mg/L以 下	1,000MPN/100mL 以下	吉井川 上流、加 茂川
B	水道3級 水産2級 及びC以下 の欄に掲げ るもの	3mg/L以 下	6.5以上 8.5以下	5mg/L以 上	25mg/L以 下	5,000MPN/100mL 以下	吉井川 中・下流
C	水産3級 工業用水1 級 及びD以下 の欄に掲げ るもの	5mg/L以 下	6.5以上 8.5以下	5mg/L以 上	50mg/L以 下	—	—
D	工業用水2 級 農業用水 及びEの欄 に掲げるもの	8mg/L以 下	6.0以上 8.5以下	2mg/L以 上	100mg/L以 下	—	—
E	工業用水3 級 環境保全	10mg/L以 下	6.0以上 8.5以下	2mg/L以 上	ごみ等の浮 遊 が認められ ないこと	—	—

〔注〕 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全

2 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの

水道2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの

水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの

3 水産1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用

水産2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用

水産3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用

4 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの

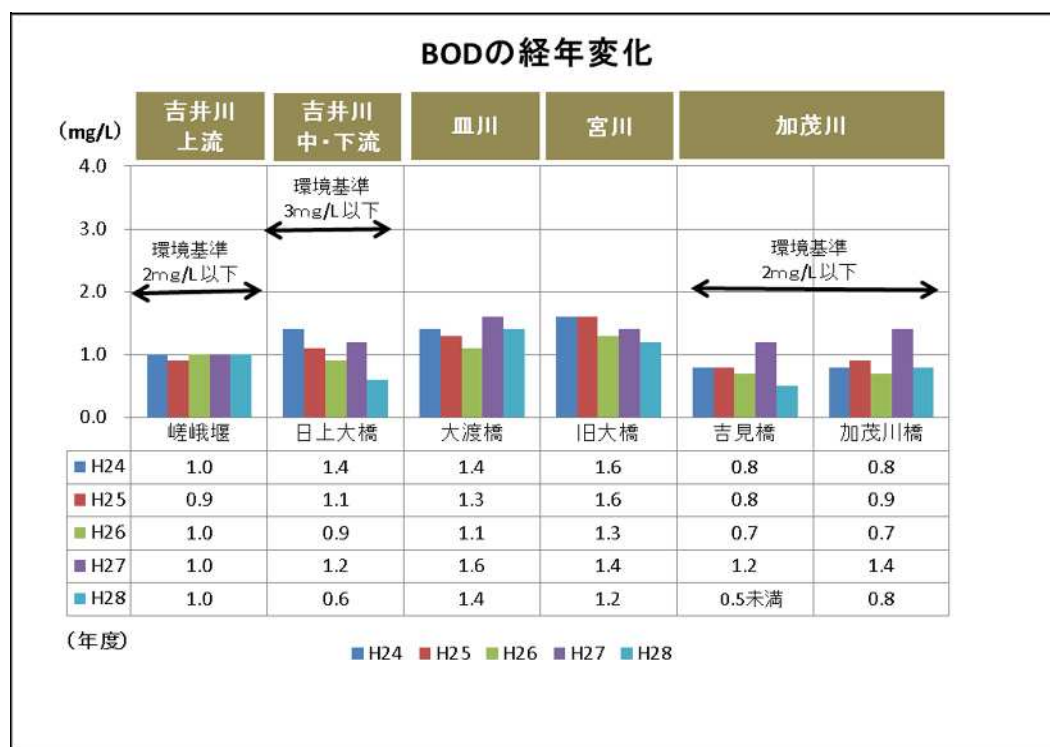
工業用水2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの

工業用水3級：特殊の浄水操作を行うもの

5 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

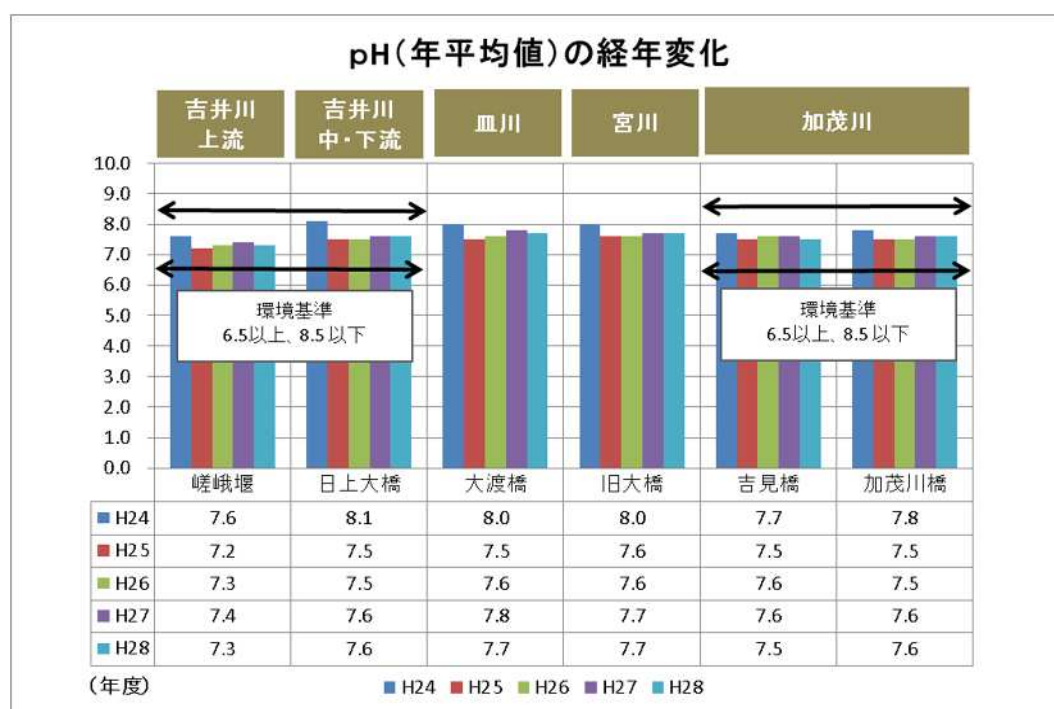
①生物化学的酸素要求量（BOD）

水質汚濁の汚染指標の一つで、水中の微生物が一定時間（20℃で 5 日間）に有機物を酸化・分解するために消費する酵素の量を示した数値。この数値が高いほど、水中の有機物の量が多いことを示す。



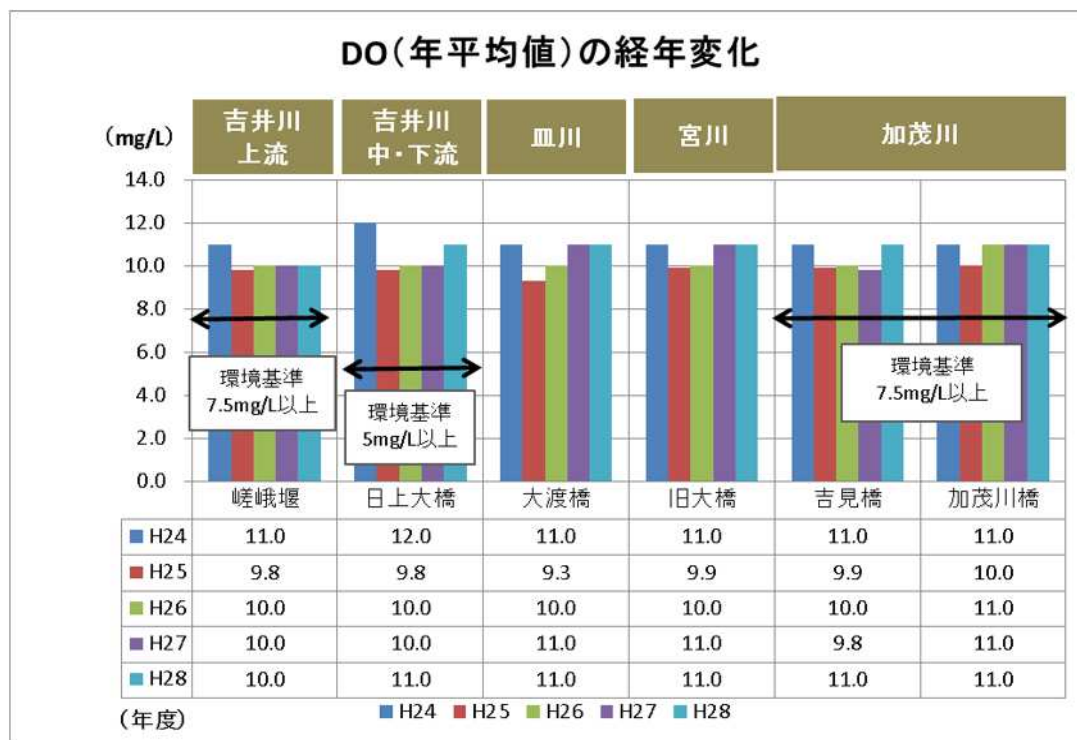
②水素イオン濃度（pH）

水の酸性・アルカリ性を表す指標。中性は7。数字が小さいほど酸性が高くなる。環境基準は 6.5 以上 8.5 以下である。



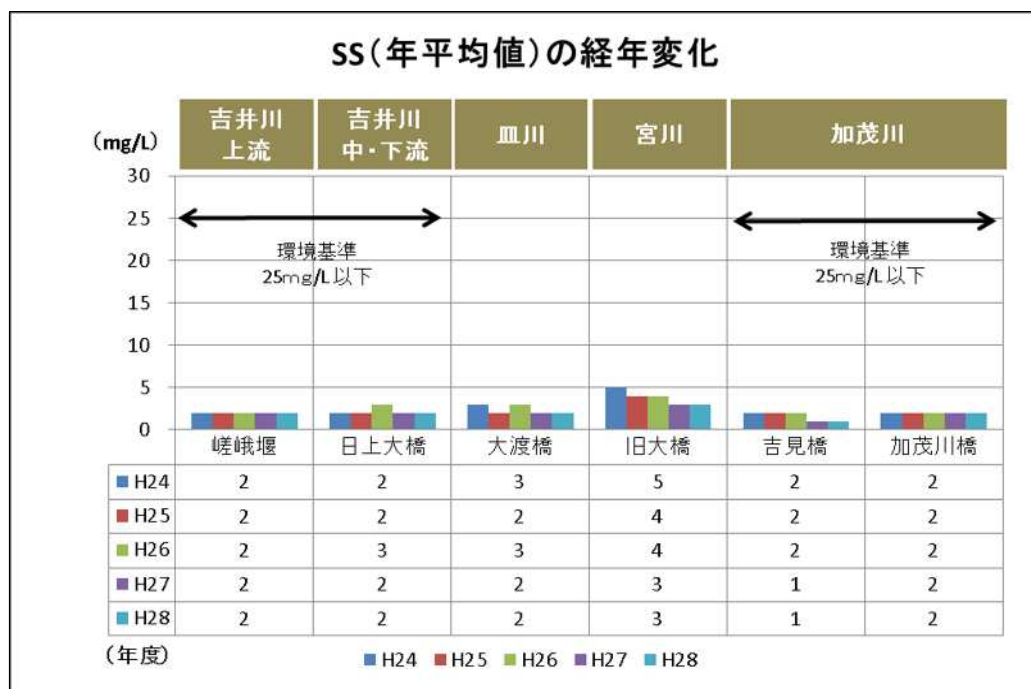
③溶存酸素量（DO）

水に溶解している酸素の量。水生生物の生息に必要であり、例えばアオコが繁茂した池などを除き、一般的に数値が大きいほど良好な環境であることを示す。



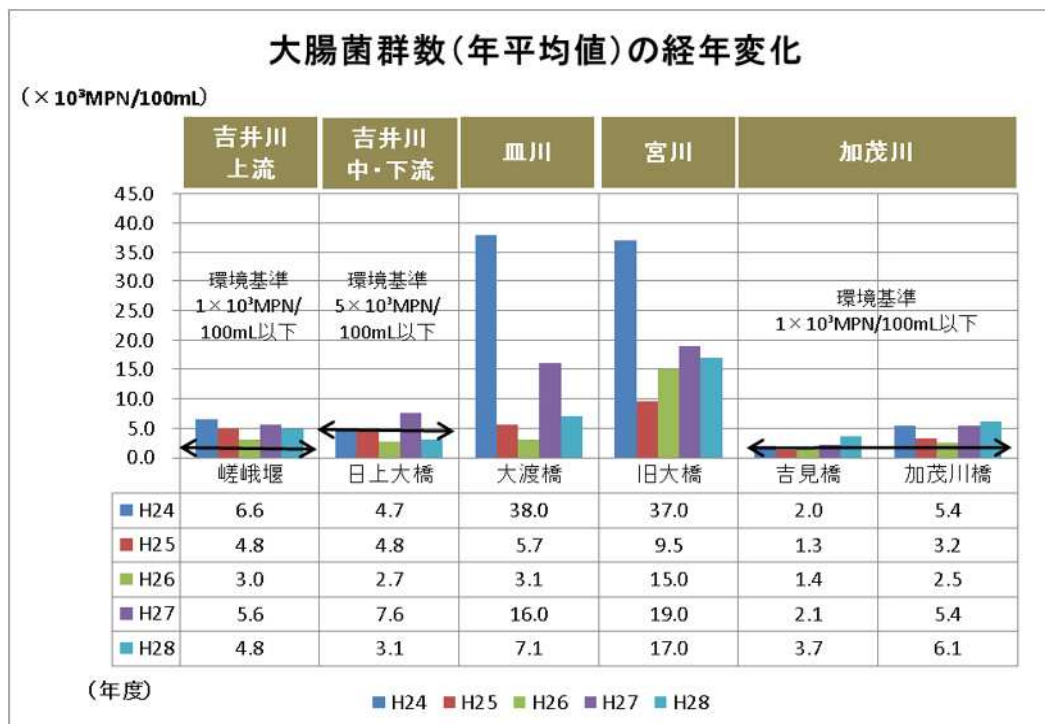
④浮遊物質（SS）

水中に懸濁している不溶性物質のことで、水の濁り、透明度等の外観に影響を与える。



⑤大腸菌群数

大腸菌及び大腸菌と性質が似ている細菌の数の指標で、哺乳類や鳥類の消化管内に生息するほか、自然界にも存在している。



※数値については全て「公共用水域及び地下水の水質測定結果（岡山県）」を参照とした。

(4) 地下水

年度			平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
調査地点			宮部上	奥津川	加茂町物見	福田下	坪井上
用途			一般飲用	生活用水	水道水源	一般飲用	生活用水
測定機関			岡山県	岡山県	岡山県	岡山県	岡山県
項目及び基準値	カドミウム	0.003mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	全シアン	検出されないこと	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	鉛	0.01mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	六価クロム	0.05mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	砒素	0.01mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	総水銀	0.0005mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	アルキル水銀	検出されないこと	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	PCB	検出されないこと	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	四塩化炭素	0.002mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	塩化ビニルモノマー	0.004mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	チウラム	0.006mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	シマジン	0.003mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	チオベンカルブ	0.02mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	ベンゼン	0.01mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	セレン	0.01mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下	0.69	1.0	0.68	4.2	1.8
	ふっ素	0.8mg/L以下	0.12	0.09	0.09	N.D.	N.D.
	ほう素	1mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.

〔注〕 N.D.は報告下限値未満であることを示す。

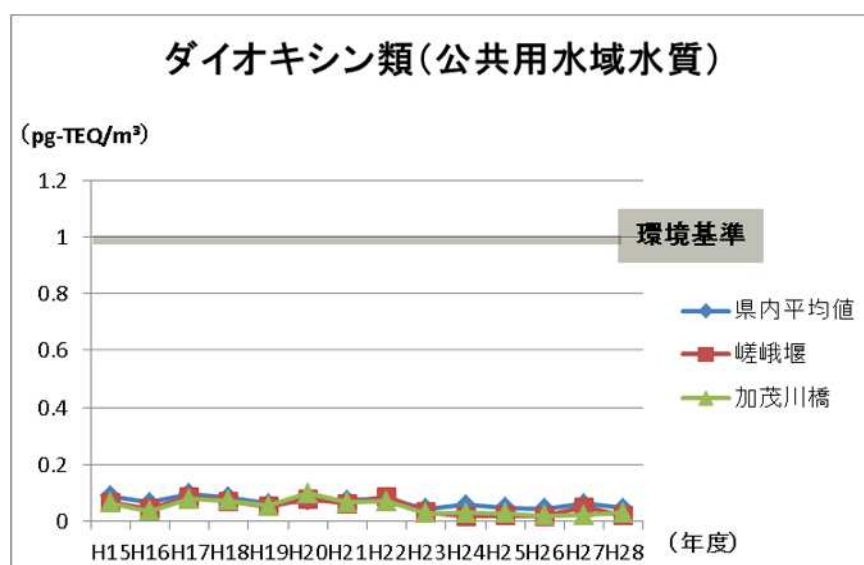
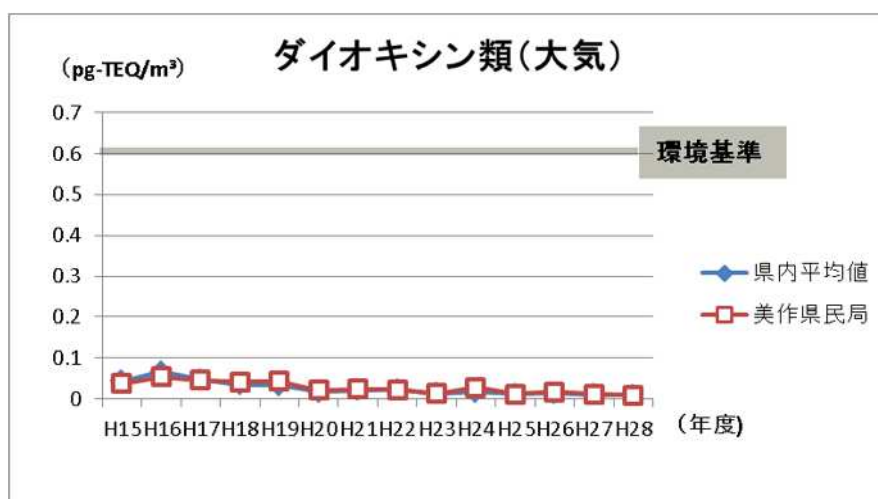
※数値については全て「公共用水域及び地下水の水質測定結果（岡山県）」を参照とした。

(5) ダイオキシン類

強い毒性を持つ物質で、一般に、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン（PCDD）の略称であるが、よく似た毒性を有する物質をまとめて表現することが多い。主な発生源は、ごみの焼却の他、金属精錬の燃焼工程や紙などの塩素漂白工程など、様々である。

◆ダイオキシン類に係る環境基準

項 目	大 気	水質及び水底の底質	土 壌
基準値	0.6pg-TEQ/m ³ 以下	水質：1 pg-TEQ/l以下 底質：150pg-TEQ/g以下	1,000pg-TEQ/g以下
備考	1 基準値は、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値とする。 2 大気及び水質の基準は、年間平均値とする。 3 土壌にあっては、環境基準が達成されている場合であって、土壌中のダイオキシン類の量が250pg-TEQ/g以上の場合には、必要な調査を実施することとする。		



※数値については全て「ダイオキシン類環境調査結果（岡山県）」を参照とした。

(6) ごみ処理

区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
計画収集人口(人)		106,601	105,688	104,840	104,056	103,117
ごみ量(t)	収集可燃ごみ量	13,733	13,339	13,112	13,384	13,169
	収集不燃ごみ量	1,392	1,307	1,309	1,333	683
	収集資源ごみ量	2,755	2,754	2,740	2,694	2,246
	収集粗大ごみ量	147	145	156	178	118
	直接搬入量	13,135	13,571	13,933	14,125	14,574
	集団回収量	3,536	3,390	3,145	2,711	2,431
	ごみ総排出量	34,698	34,506	34,395	34,425	33,221
	ごみ処理量	-	-	-	33,258	35,895
	総資源化量	6,765	9,208	10,285	8,343	7,556

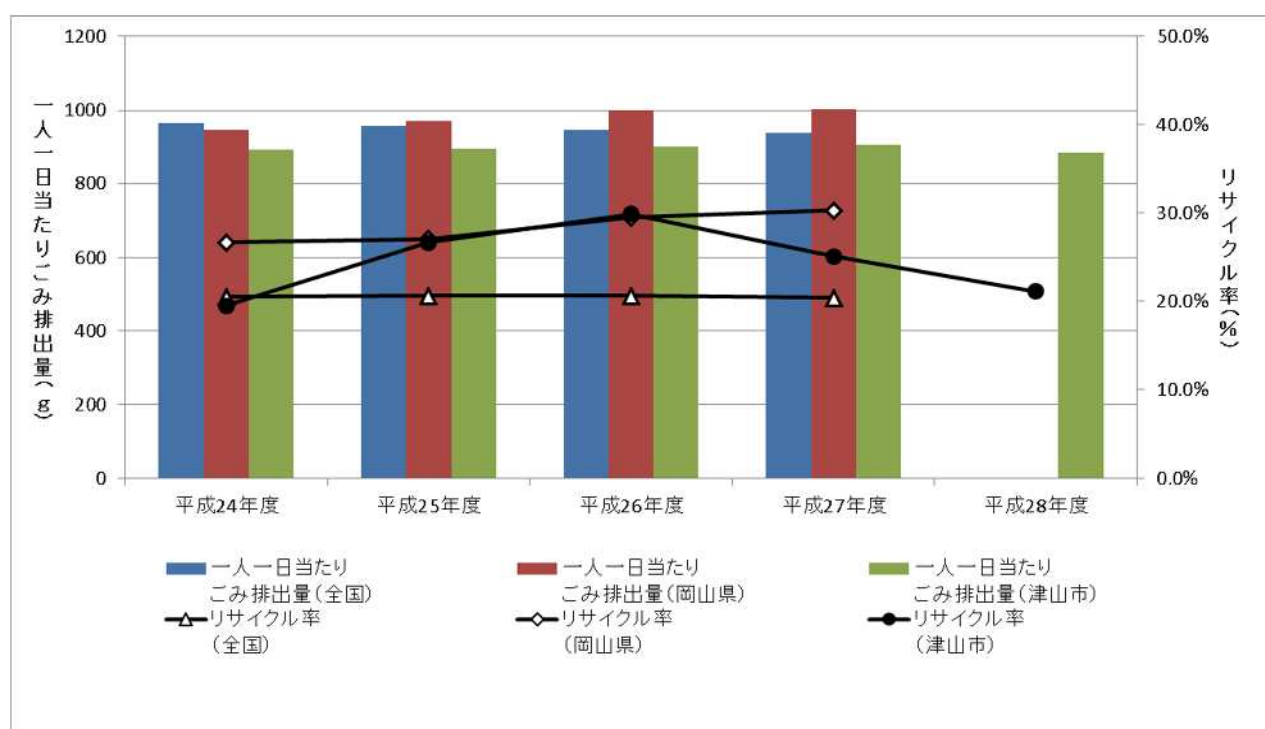


〔注〕「収集粗大ごみ量」は量が少ないためグラフでは表示していない。

※数値について、第2次計画では「一般廃棄物処理実態調査（環境省）」を参照していたが、「津山市一般廃棄物処理基本計画」の策定に伴い、これに基づいたデータを参照とした。

(7) リサイクル率

区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
一人一日当たり ごみ排出量(g)	一人一日当たり ごみ排出量(全国)	964	958	947	939	-
	一人一日当たり ごみ排出量(岡山県)	947	970	1000	1003	-
	一人一日当たり ごみ排出量(津山市)	892	894	899	906	883
リサイクル率	リサイクル率 (全国)	20.5%	20.6%	20.6%	20.4%	-
	リサイクル率 (岡山県)	26.7%	27.1%	29.5%	30.3%	-
	リサイクル率 (津山市)	19.5%	26.7%	29.9%	25.1%	21.1%

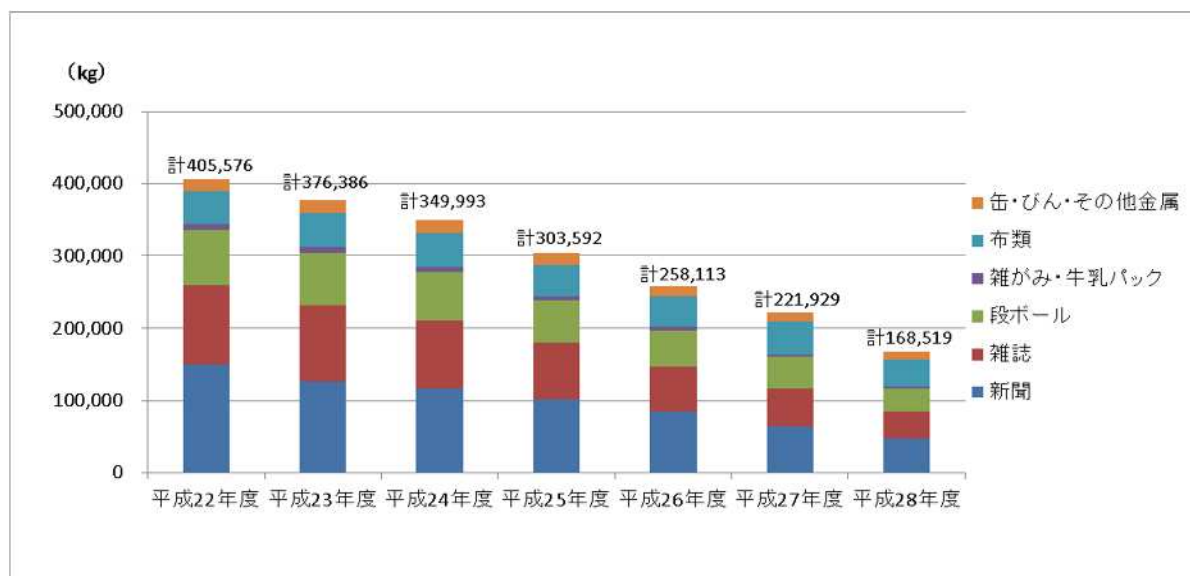


※数値について、第2次計画では「一般廃棄物処理実態調査（環境省）」を参照していたが、「津山市一般廃棄物処理基本計画」の策定に伴い、これに基づいたデータを参照とした。

(8) 青空リサイクルプラザ

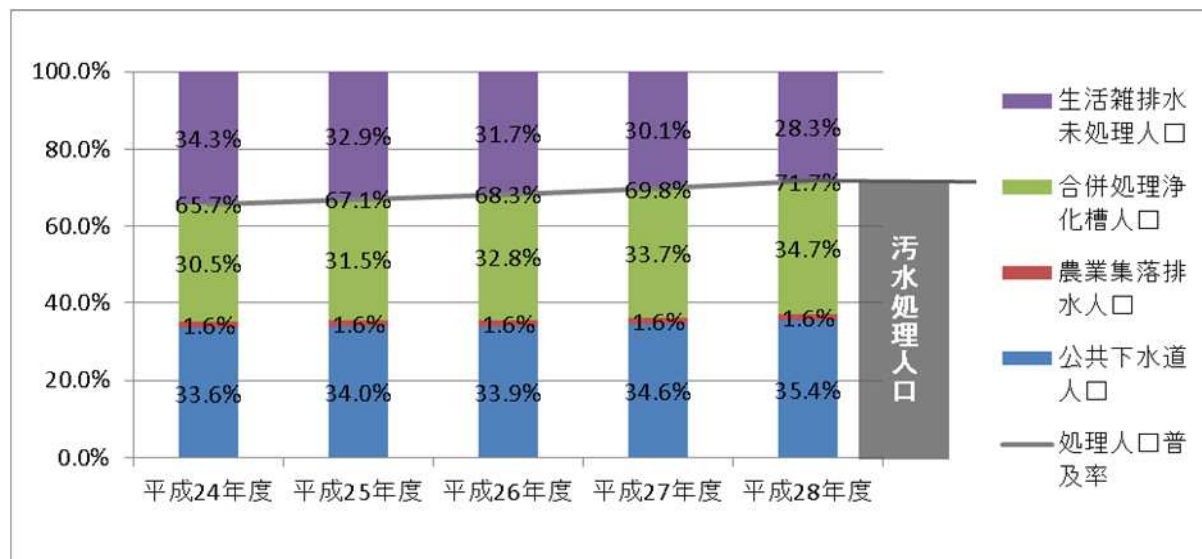
地域の資源回収日に資源化物を出せない方にもリサイクルに参加してもらうことを目的に、津山市が平成 15 年度に開設。

市内 3 か所で定期的を開催し、資源化物を無料で引き取っている。



※数値については、市環境事業課より提供。

(9) 生活排水処理



※数値については「岡山県ホームページ」を参照とした。

第4章 指標と実施状況

この章では、第2次計画で示した指標及び目標値に対する平成28年度の実施状況、進捗状況を取りまとめています。

目標を達成していないものもあるため、平成31年度目標値の達成に向け、現状分析を行なうとともに、引き続き各施策に取り組めます。

(1) 分野：ひと

①サブビジョン：子どもの時から学び、共に育つまち

指標	基準値 (平成26年度)	実績値 (平成28年度)	目標値 (平成31年度)
市民団体と市が協働で行う、学校、幼稚園、保育園などへの出前講座の件数	6件	6件	30件

平成28年度実績

美作大学白梅祭（H28.10.9～10）：リサイクル鉛筆作り、COOL CHOICE 普及啓発
水辺の学校 ほか



指標	基準値 (平成 26 年度)	実績値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 31 年度)
市民団体と市が協働で行う、地域での 環境学習講座の件数	3 件	12 件	23 件

平成 28 年度実績

牛乳パックで作るおしゃれな小物づくりと環境のお話し【津山中央公民館（H28.9.14）】

古布で作る楽しいお手玉作りと環境のお話し【津山市立図書館（H29.1.22）】

環境劇「エコ侍津山太助～みんなでクールチョイス！」【津山市立図書館（H29.1.21）】

ほか



②サブビジョン：環境意識を高めるまち

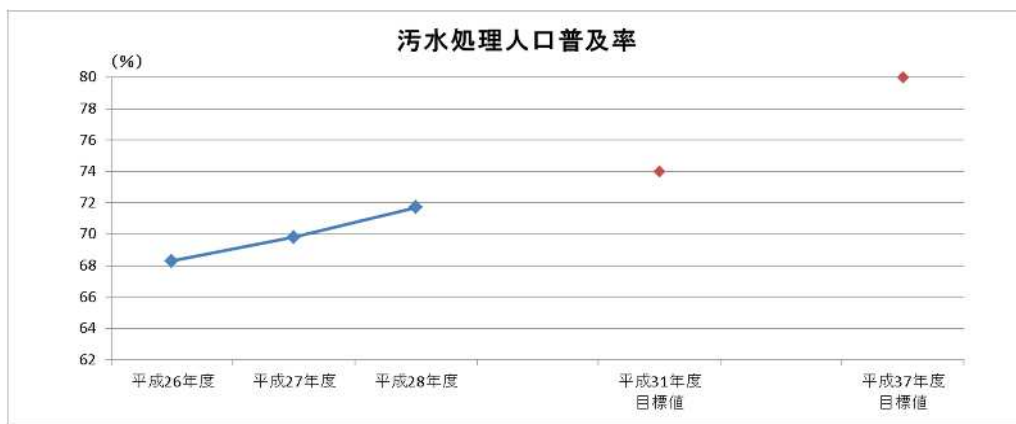
指標	基準値 (平成 26 年度)	実績値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 31 年度)
環境学習リーダー養成講座修了者	3 人	5 人	10 人

市内在住者及び津山市内に所在する団体に加入しているもの。

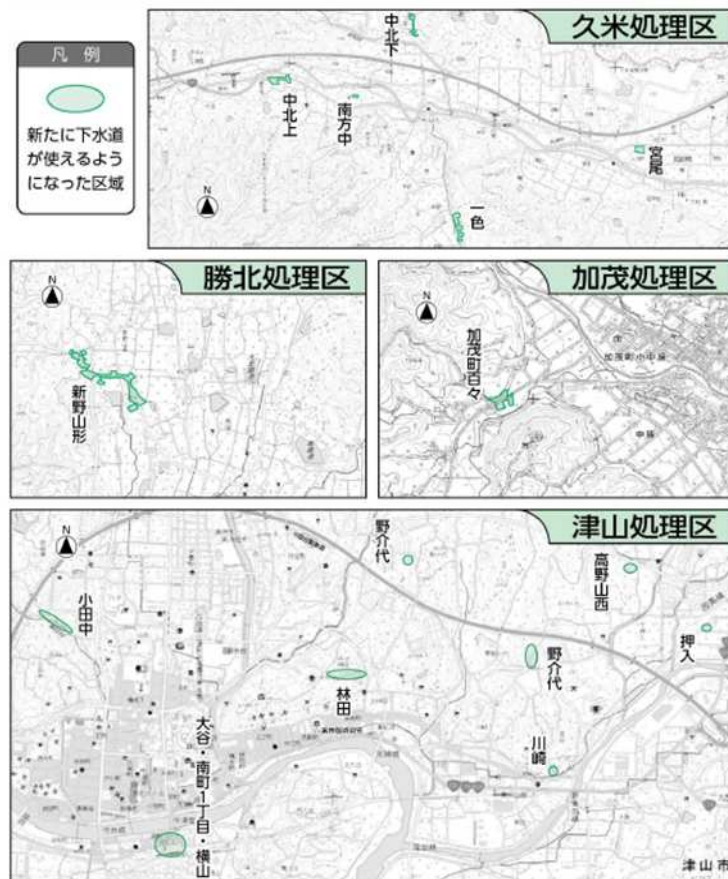
(2) 分野：しぜん

①サブビジョン：川面に吹く風の心地よいまち

指標	基準値 (平成26年度)	実績値 (平成28年度)	目標値 (平成31年度)
汚水処理人口普及率 ※総人口のうち、公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽が利用できる人口の比率	68.3%	71.7%	74%



平成28年度新規供用開始場所



②サブビジョン：心のふるさと里山里地の豊かなまち

指標	基準値 (平成 26 年度)	実績値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 31 年度)
自然観察会や体験学習の件数	年間 4 回	年間 2 回	年間 8 回

平成 2 8 年度実績

水の学校 (H28.8.20)



森の学校 (H28.11.27)



(3) 分野：まち

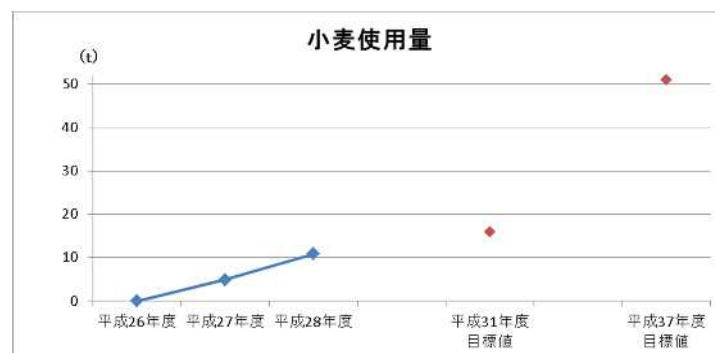
①サブビジョン：緑があふれ歴史を感じるまち

指標	基準値 (平成26年度)	実績値 (平成28年度)	目標値 (平成31年度)
「花いっぱい運動」参加団体数	120 団体	129 団体	125 団体

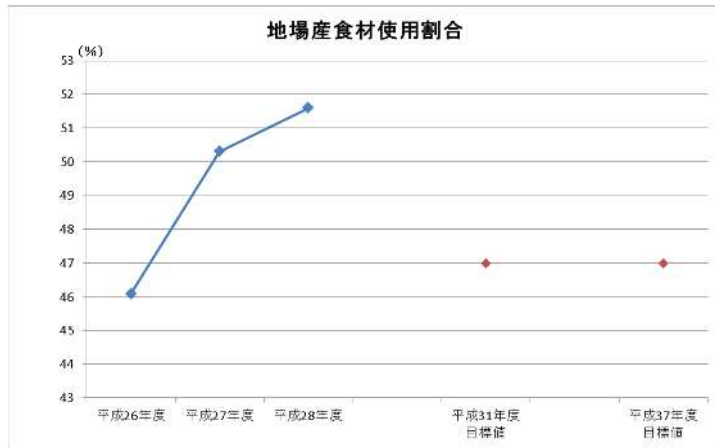


②サブビジョン：未来を拓く、地産地消のまち

指標	基準値 (平成26年度)	実績値 (平成28年度)	目標値 (平成31年度)
学校給食への津山産小麦使用量	0 t	10.8 t	16 t



指標	基準値 (平成 26 年度)	実績値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 31 年度)
学校給食に地場産物食材を使用する割合	46.1%	51.6%	47%

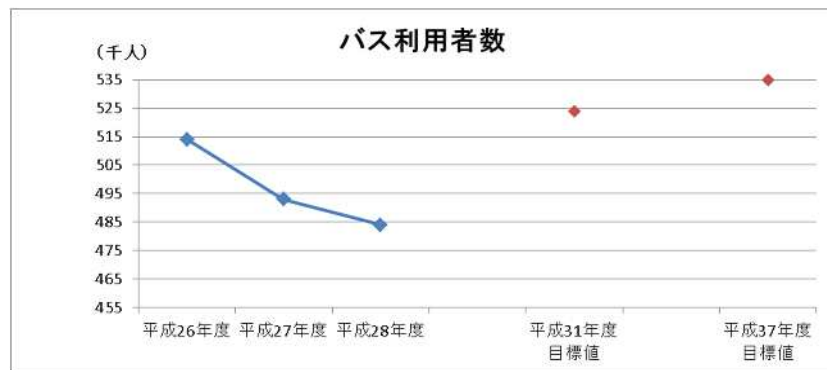


③サブビジョン：安全安心で活気あふれる楽しいまち

指標	基準値 (平成 26 年度)	実績値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 31 年度)
空き家の除去等改善済み件数	7 件	14 件	50 件

④サブビジョン：人と環境にやさしいまち

指標	基準値 (平成 26 年度)	実績値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 31 年度)
公共交通(バス)利用者数	514 千人	484 千人	524 千人



指標	基準値 (平成 26 年度)	実績値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 31 年度)
ノーマイカーデー参加者によるマイカー通勤距離の削減	4,632 km	2,679 km	4,800 km

※ノーマイカーデーについては、年 2 回（春・秋）の開催をしていましたが、平成 28 年度より春 1 回の開催となったため、新たにスマート通勤おかやまに参加することになりました。ただし、スマート通勤おかやまに関しては、マイカー通勤距離の削減をもとめるものではないので、上記実績値はノーマイカーデーによる削減値のみとしています。なお、スマート通勤おかやまによる効果については、下記のとおりとなります。



従業員の参加人数：102人
従業員の延べ参加日数：477日

CO2排出：236.1kg-CO2削減

スマート未実施 1240.4kg-CO2
スマート実施 1004.3kg-CO2

杉の木の木数 16.9本分



ガソリン消費：58.4リットル削減

スマート未実施 339.4リットル
スマート実施 281.0リットル

ガソリン代 6,716円節約



消費カロリー：10363.2kcal 増加

スマート未実施 19170.4kcal
スマート実施 29533.6kcal

ショートケーキ 34.5個分



(4) 分野：しくみ

①サブビジョン：エネルギーや資源の地産地消を進めるまち

指標	基準値 (平成 26 年度)	実績値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 31 年度)
市民協働発電所の設置数	0 か所	4 か所	5 か所

平成 27 年度設置施設

道の駅久米の里：設備容量 10 kW

津山すこやか・こどもセンター：設備容量 42 kW



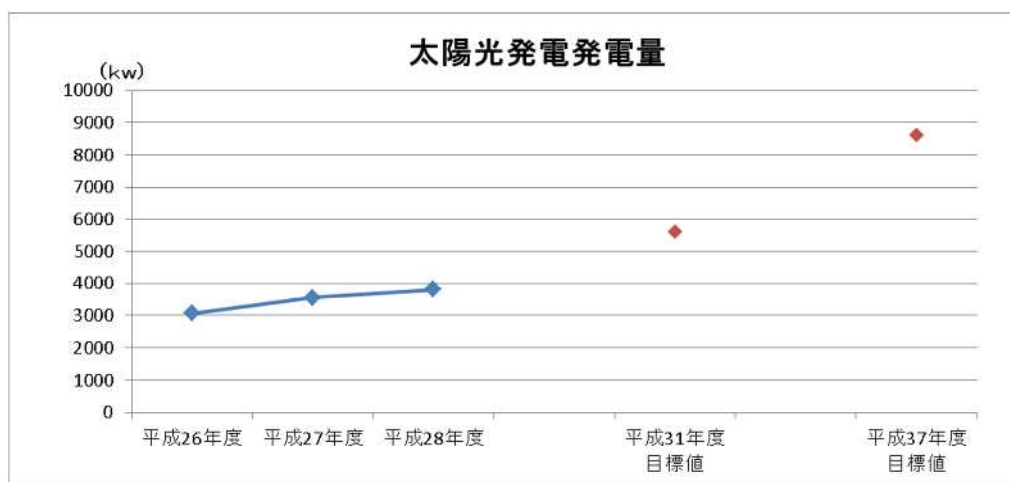
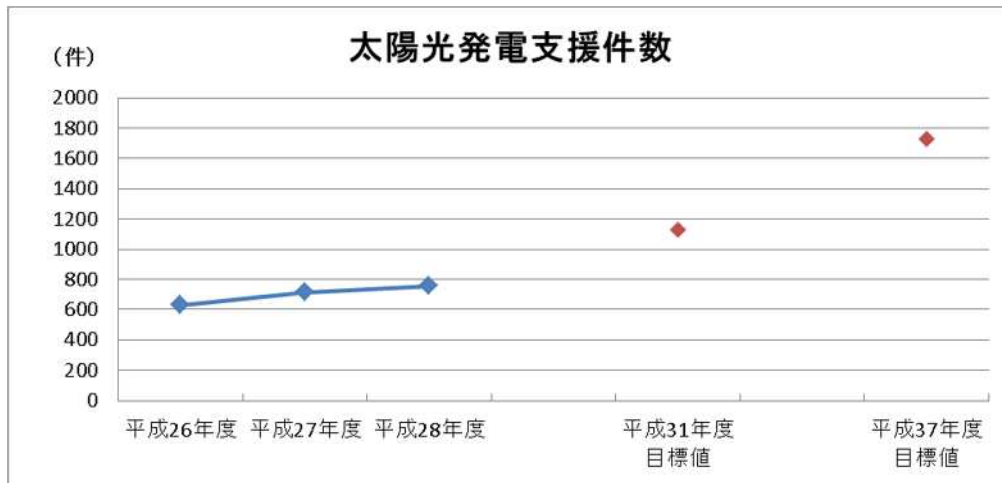
平成 28 年度設置施設

西苦田公民館：設備容量 19.8 kW

一宮公民館：設備容量 19.8 kW



指標	基準値 (平成 26 年度)	実績値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 31 年度)
住宅用太陽光発電システムの設置支援件数及び発電出力合計数	630 件 3,069 kW	756 件 3,802 kW	1,130 件 5,619 kW

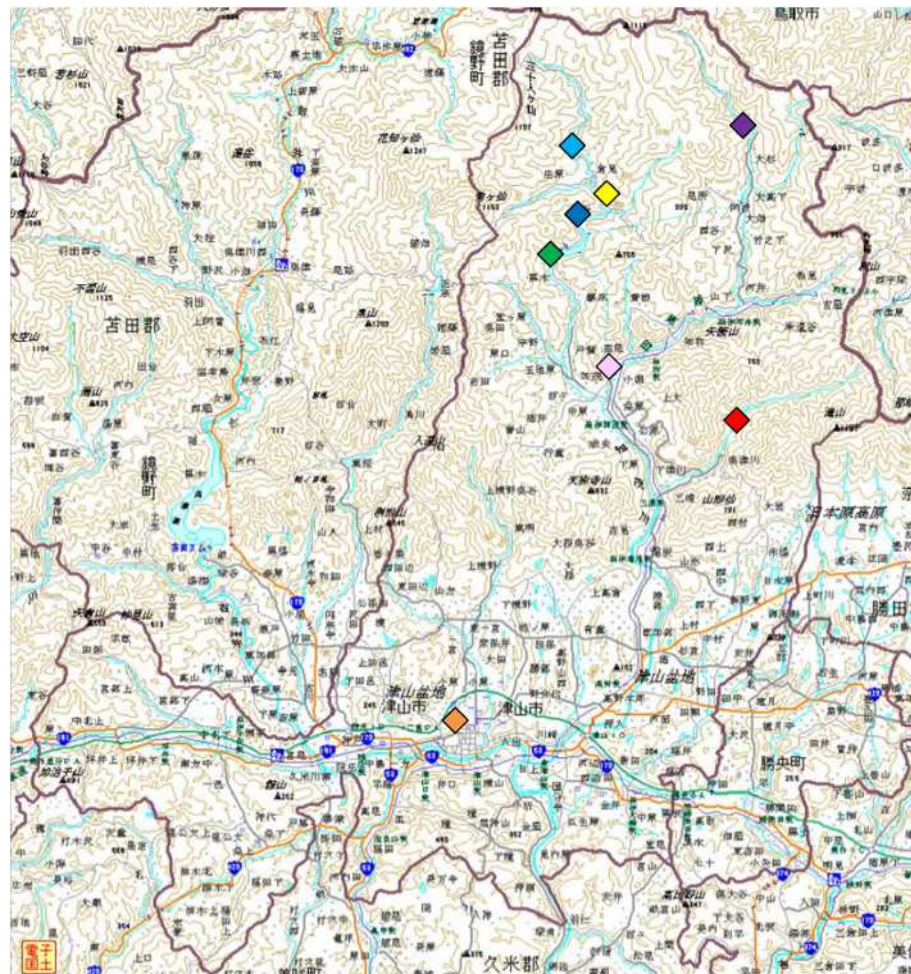


指標	基準値 (平成 26 年度)	実績値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 31 年度)
学校施設更新整備方針に基づく整備の太陽光発電施設の整備率	0%	16.6%	100%

指標	基準値 (平成 26 年度)	実績値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 31 年度)
小水力発電設置数	7 か所	7 か所	9 か所

桑谷発電所・黒木堰堤発電所・倉見発電所・滝ノ谷発電所・阿波発電所・津川発電所・
小田中第一配水池発電所

※下図にある加茂発電所については、発電量 14,000 kW であるため、小水力に含めていない。



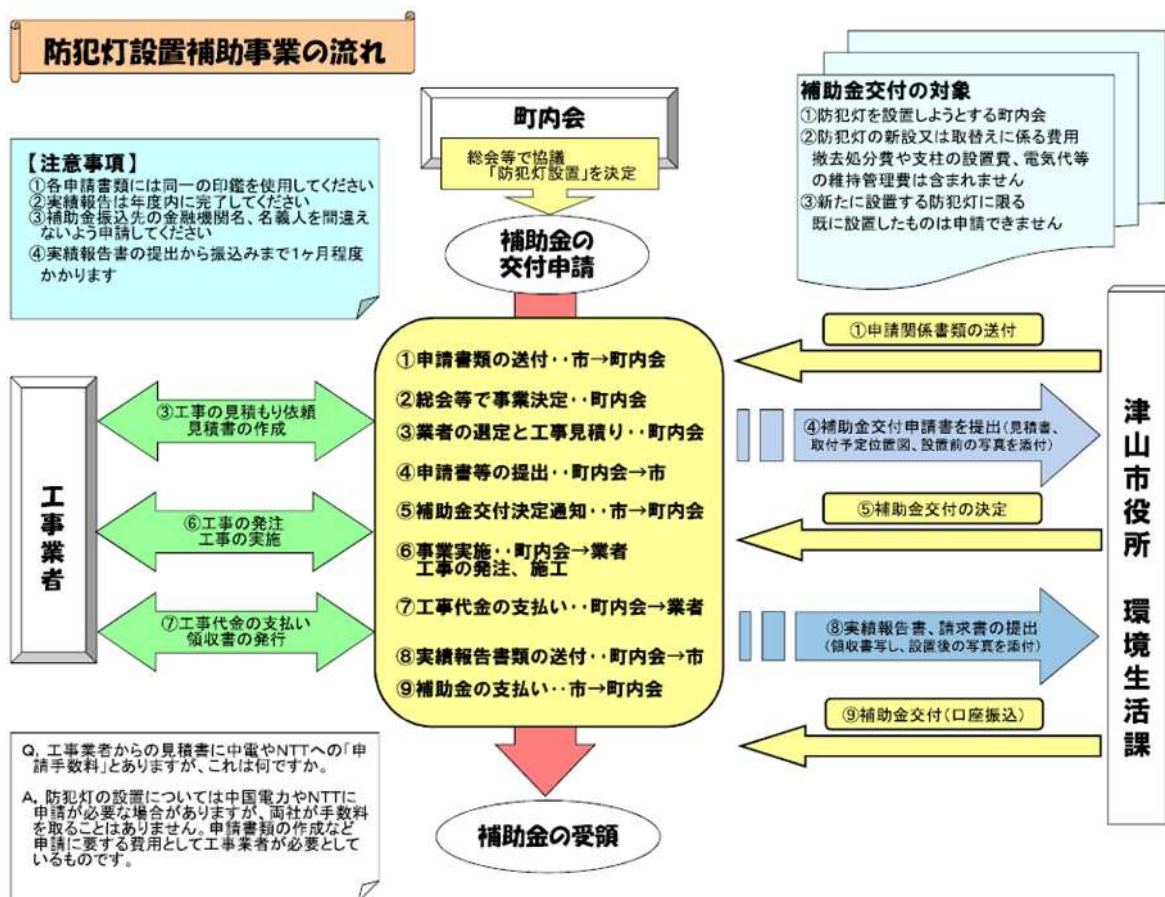
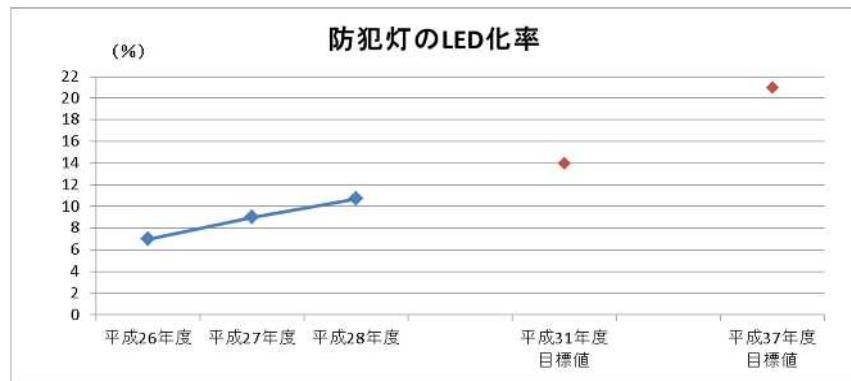
	番号	地点名
◆	①	桑谷発電所
◆	②	加茂発電所
◆	③	黒木えん堤発電所
◆	④	倉見発電所
◆	⑤	滝ノ谷発電所
◆	⑥	阿波発電所
◆	⑦	津川発電所
◆	⑧	小田中第一配水池発電所

※「国土地理院ウェブサイト」をもとに津山市作成

指標	基準値 (平成 26 年度)	実績値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 31 年度)
間伐材の利用拡大による（発電等）搬出量の増加	17,300 m ³	20,835 m ³	26,100 m ³

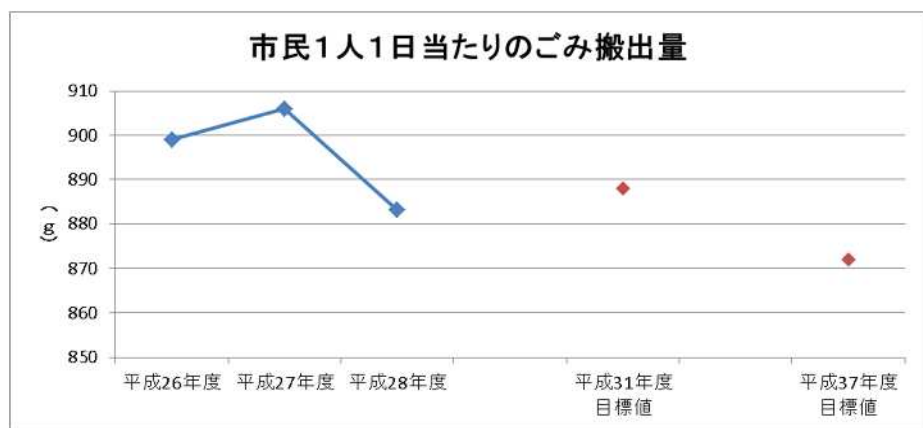
②サブビジョン：省エネルギーを進めるまち

指標	基準値 (平成26年度)	実績値 (平成28年度)	目標値 (平成31年度)
防犯灯のLED化率の向上	7%	10.7%	14%



③サブビジョン：ごみを減らし、資源の循環するまち

指標	基準値 (平成 26 年度)	実績値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 31 年度)
市民 1 人 1 日当たりのごみ排出量	899 g	883 g	888 g



指標	基準値 (平成 26 年度)	実績値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 31 年度)
市の出前講座の年間の参加者数	180 人	1,999 人	228 人

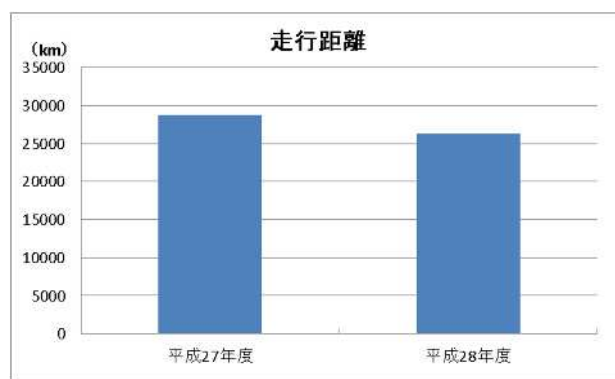
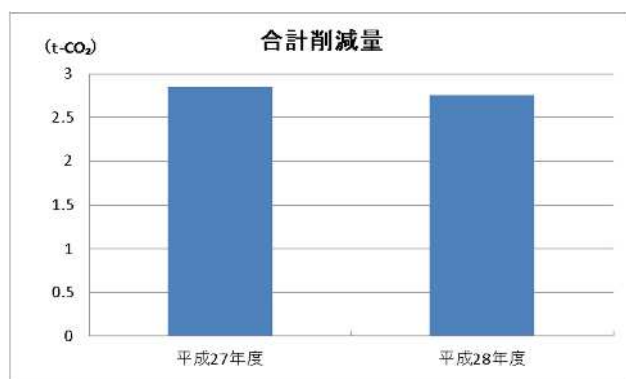


(5) その他の取り組み

①超小型モビリティの活用による低炭素化

津山市では、交通の低炭素化を促進するため、環境に配慮した新たな交通手段である超小型モビリティを、平成26年には26台（1人乗り25台、2人乗り1台）を導入し、実証事業を開始しました。ここでは、市で導入した超小型モビリティの二酸化炭素排出削減量及び削減率を記載しています。

合計削減量	走行距離
2.76 t-CO ₂ /年	26,336.6 km



資 料 編

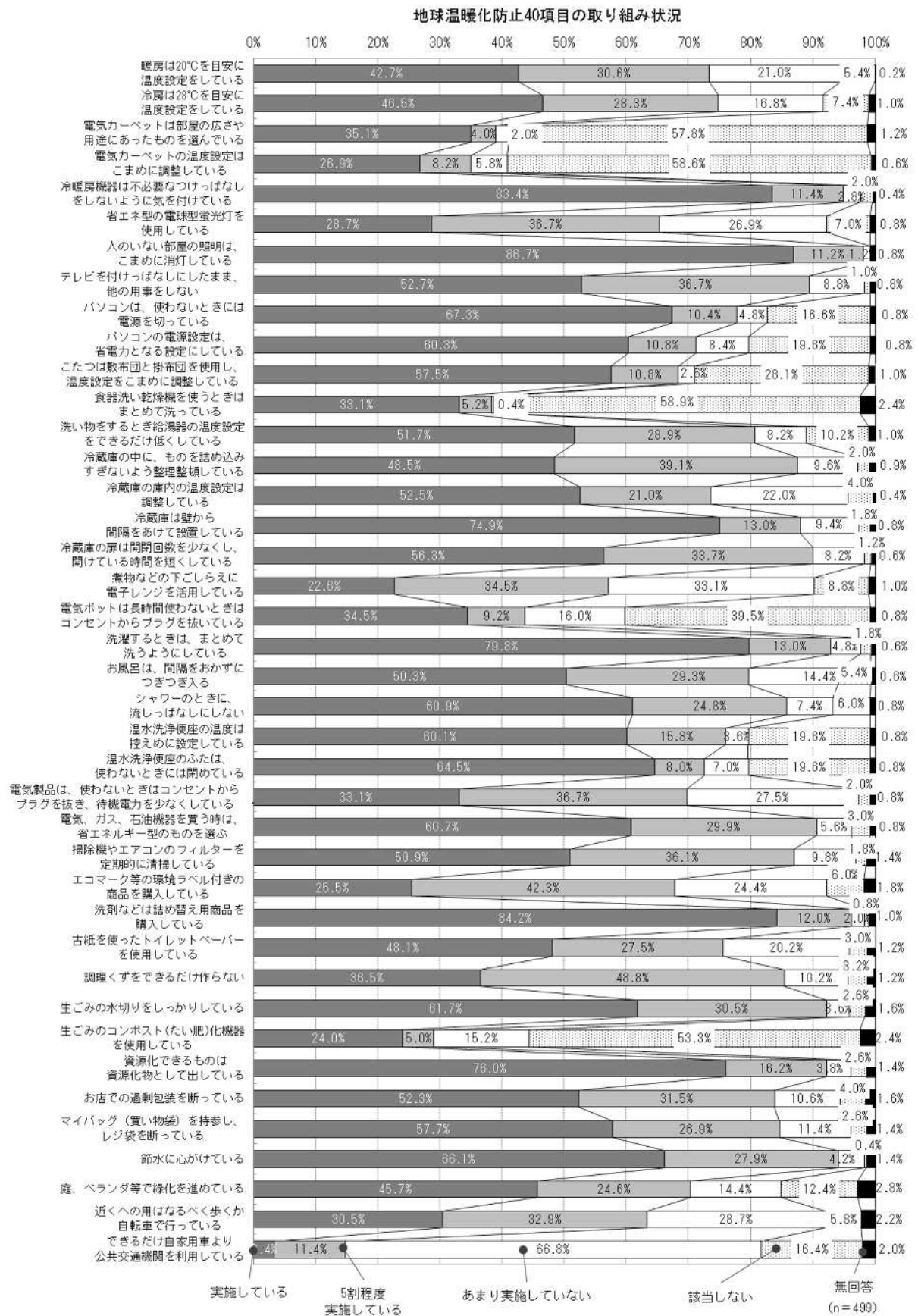
資料① 平成 26 年度市民アンケート

資料② 平成 28 年度市民アンケート

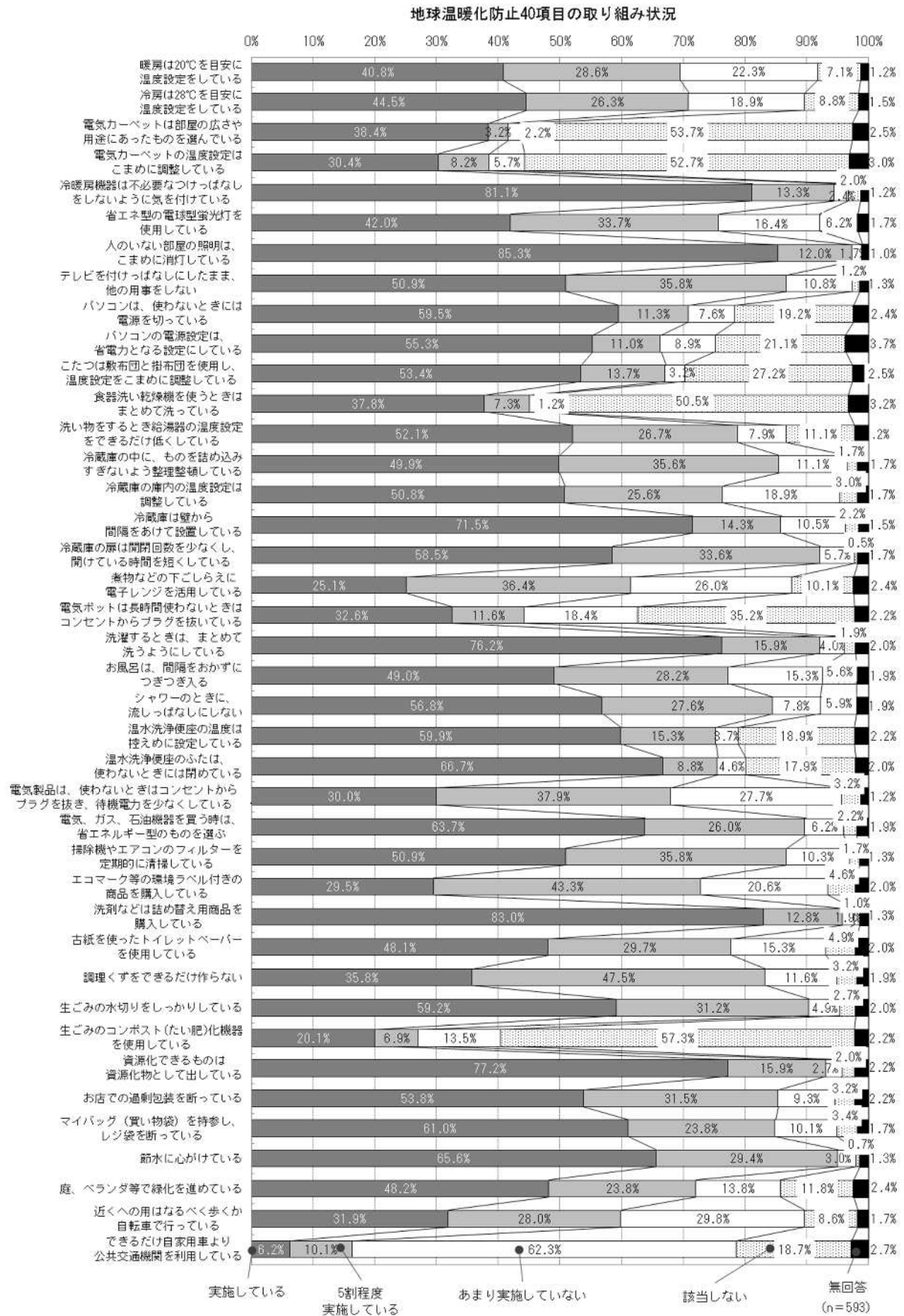
資料③ 平成 26 年度事業者アンケート

資料④ 平成 28 年度事業者アンケート

①平成 26 年度市民アンケート

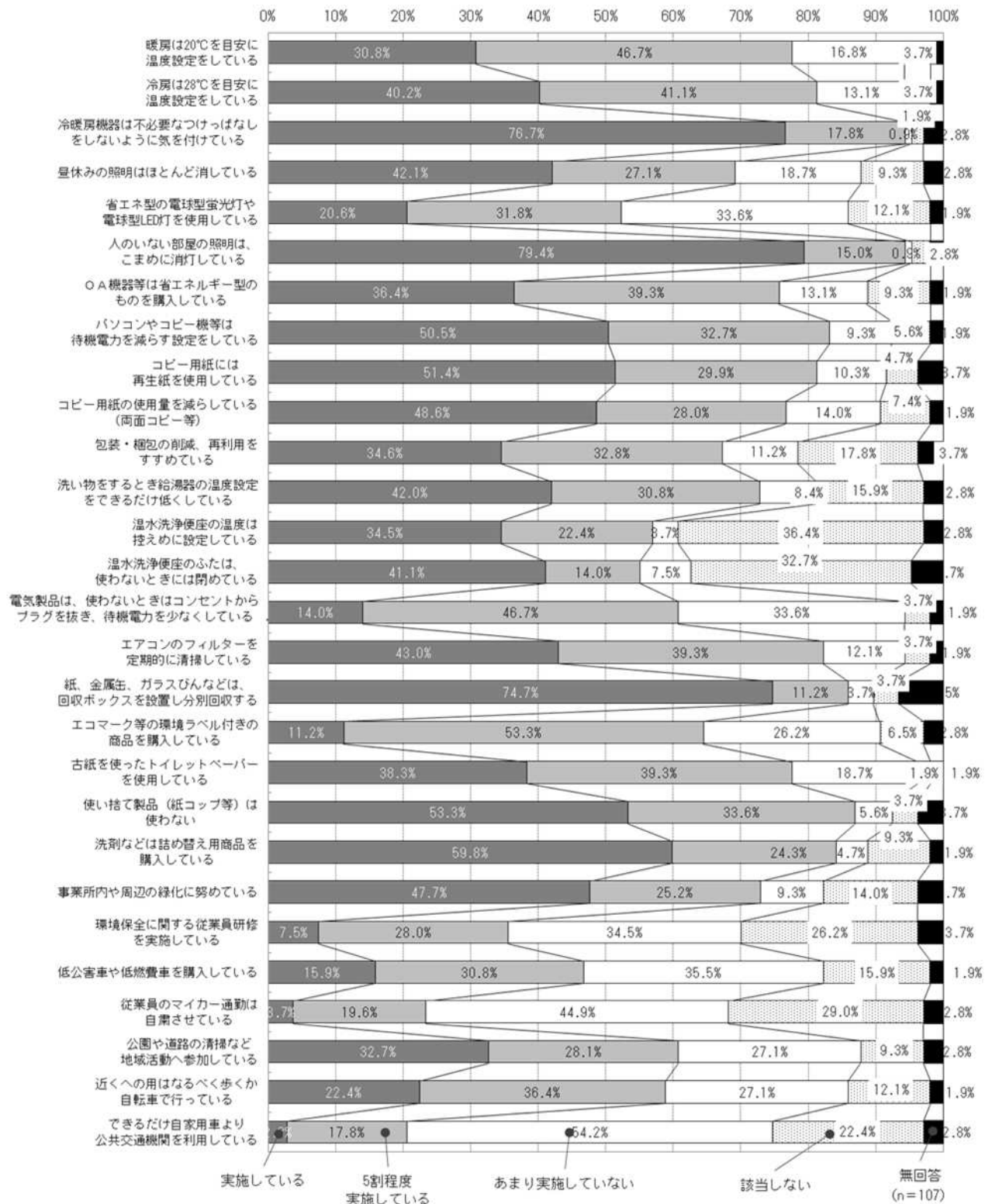


②平成 28 年度市民アンケート



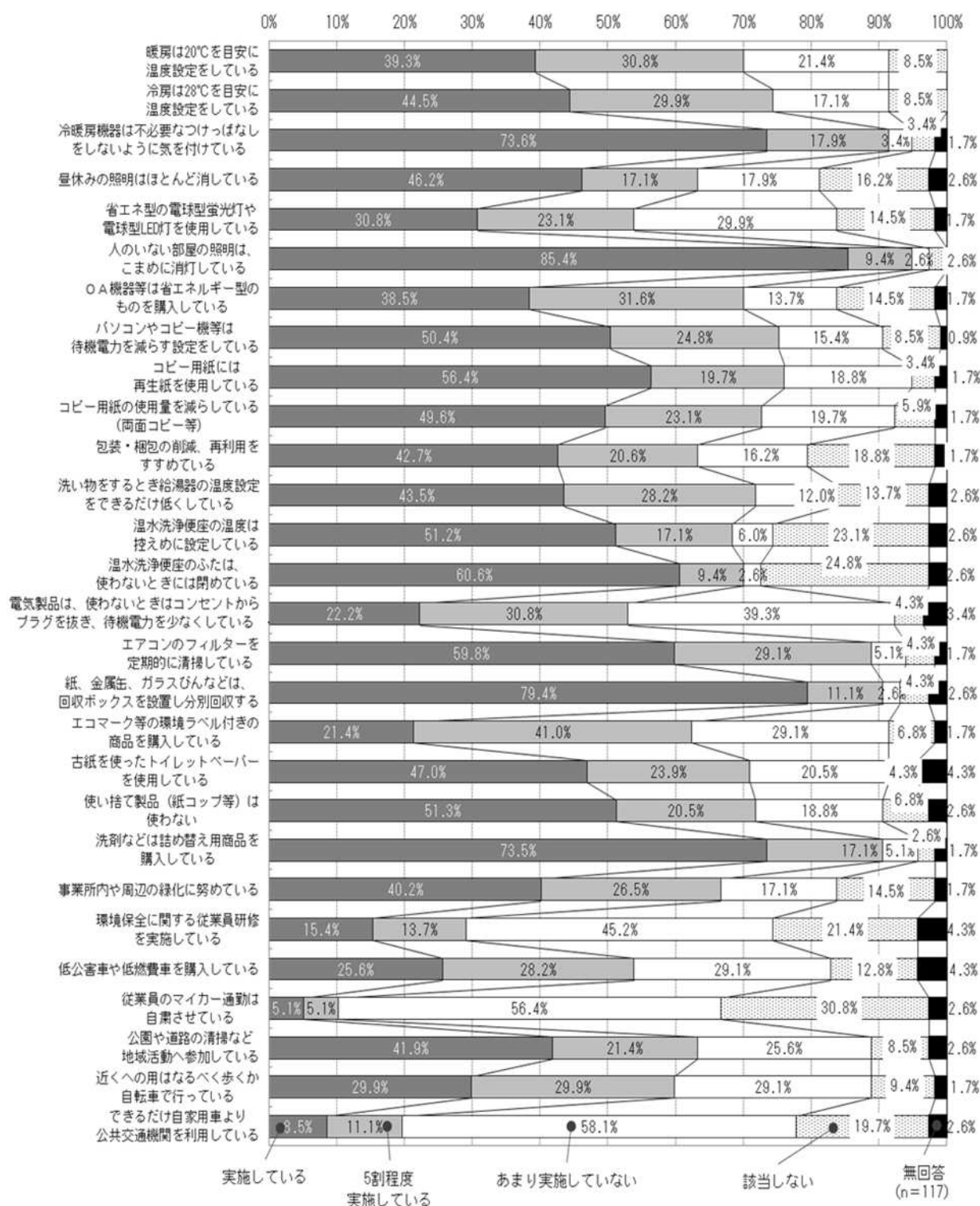
③平成 26 年度事業者アンケート

地球温暖化防止28項目の取り組み状況



平成 28 年度事業者アンケート

地球温暖化防止28項目の取り組み状況



津山市の環境報告書

平成 2 9 年度版

平成 3 0 年 3 月発行

発行 津山市環境福祉部低炭素都市推進室

〒708-8501 津山市山北 520 番地

T E L (0868) 32-2051 (直通)

F A X (0868) 32-2158

e-mail : teitanso@city.tsuyama.lg.jp